

令和元年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

放課後児童クラブにおける育成支援の実態と保護者ニーズに関する調査研究

放課後児童クラブの育成支援の実態と保護者ニーズに関する調査 (結果概要)

令和2年3月

目次

1. 調査の実施概要

2. 回答自治体の状況

- (1) 回答自治体の都市類型、放課後児童クラブを所管する部局
- (2) 登録児童数、利用できなかった児童数(待機児童数)

3. 回答放課後児童クラブの状況

- (1) 設立運営・運営主体・運営形態
- (2) 設置場所、『児童1人当たりの専用区画』の面積
- (3) 1日に配置している職員数
- (4) 利用児童数
- (5) 退所児童数、退所の主な理由

4. 回答保護者の状況

- (1) 子どもの学年、放課後児童クラブの週の利用回数
- (2) 放課後児童クラブ以外の放課後に行う活動の週の回数・内容

5. 育成支援の実施状況

- (1) 放課後児童クラブにおける活動や育成支援に関する取組の状況
- (2) 放課後児童クラブにおける職員による子どもや保護者への関わりの状況
- (3) 放課後児童クラブにおける子どもや保護者との関わりの状況

6. 放課後児童クラブに対する満足度

1. 調査の実施概要

調査名、調査期間、調査対象、調査方法、回収状況

①市区町村主管課向け調査

調査期間: 令和2年1月9日(木)～令和2年2月17日(月)

調査方法: メール送信・メール回収

調査対象: 130地域、うち、指定都市(12地域)、中核市(18地域)、一般市(54地域)、町(37地域)、村(9地域)

回収状況: 回収数120地域、回収率92.3%

②放課後児童クラブ責任者向け調査

調査期間: 令和2年1月6日(月)～令和2年2月12日(水)

調査方法: 郵送配布・郵送回収

調査対象: 放課後児童クラブ責任者(上記①市区町村に所在する全放課後児童クラブ1,023団体)、うち、指定都市(117団体)、中核市(180団体)、一般市(496団体)、町(204団体)、村(26団体)

回収状況: 回収数 698団体、回収率 68.2%

③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査

調査期間: 令和2年1月6日(木)～令和2年2月12日(水)

調査方法: 郵送配布・WEB回答もしくは郵送回収

調査対象: 保護者(上記②の放課後児童クラブに子どもが通う保護者)

回収状況: 回収数6,855人、うち、郵送回答1,401人、WEB回答:5,454人

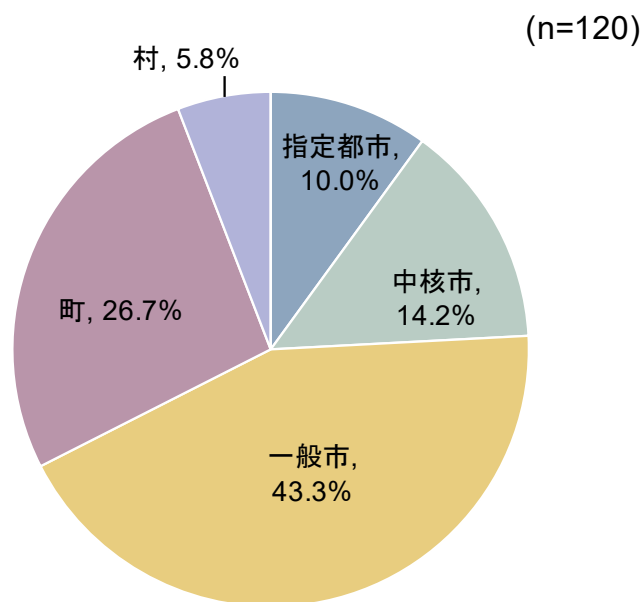
2. 回答自治体の状況(1)

〔①市町村主管課向け調査〕

回答自治体の都市類型

- 回答自治体数120の都市類型をみると、「指定都市」が10.0%、「中核市」が14.2%、「一般市」が43.3%、「町」が26.7%、「村」が5.8%であった。

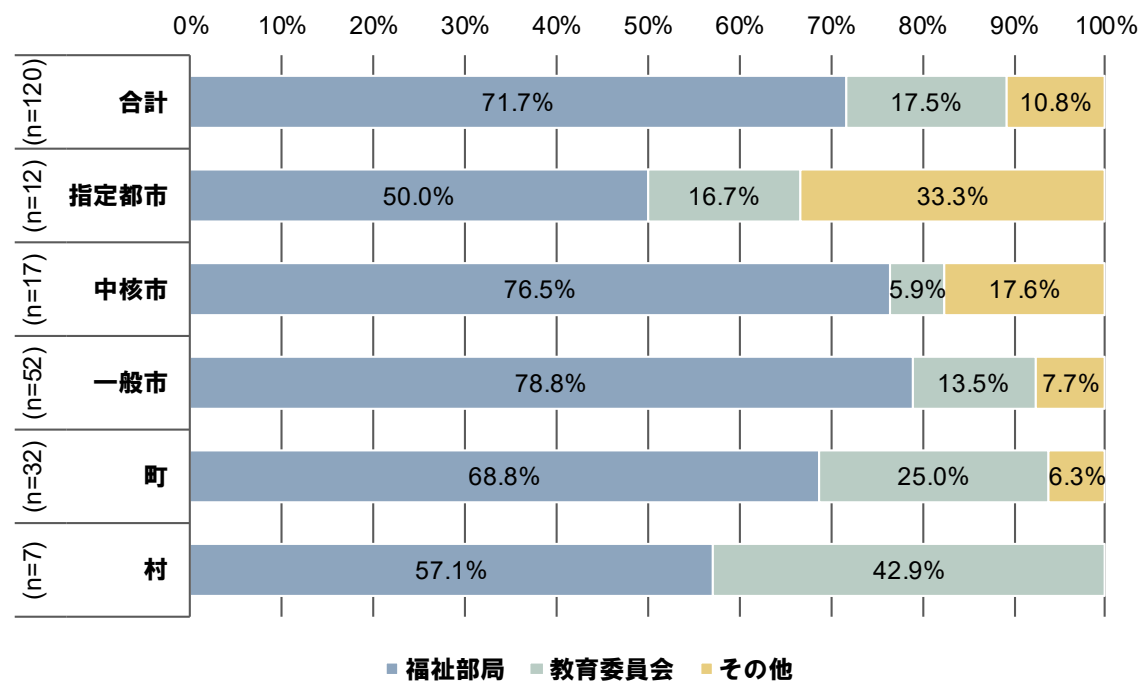
回答自治体の都市類型



放課後児童クラブを所管する部局

- 放課後児童クラブを所管する部局は、「福祉部局」が71.7%と7割を占め最も高く、「教育委員会」が17.5%となっている。都市類型別には、中核市、一般市では「福祉部局」の割合が、それぞれ4分の3を超えている。

都市類型別の放課後児童クラブを所管する部局(問2)



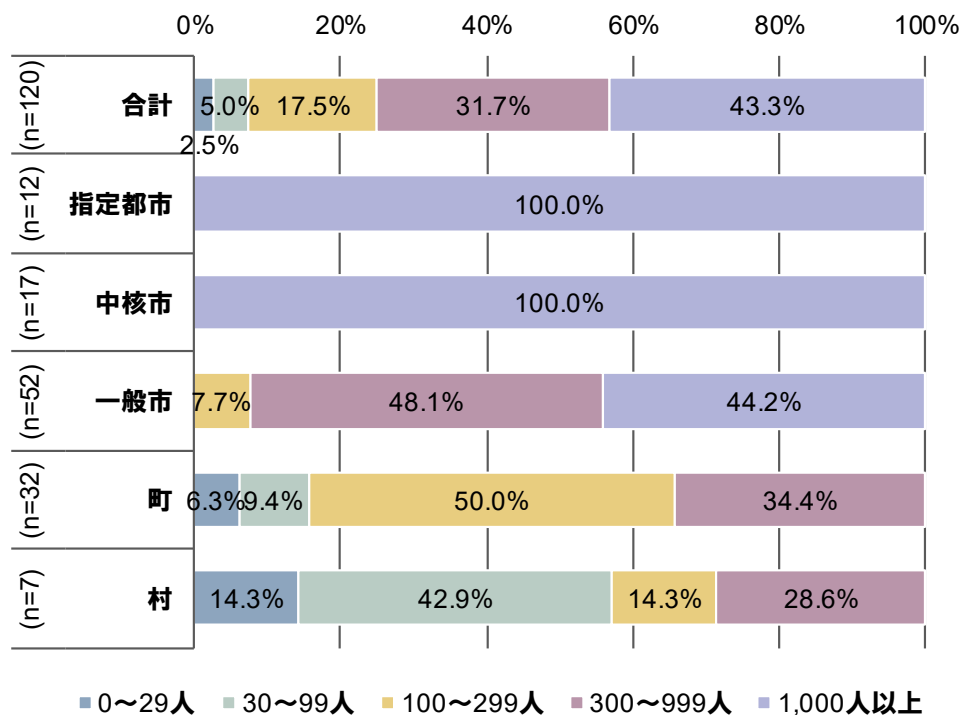
2. 回答自治体の状況(2)

〔①市町村主管課向け調査〕

登録児童数

- 登録児童数は、指定都市、中核市では全てが「1,000人以上」であり、一般市では「300～999人」が48.1%、「1,000人以上」が44.2%と割合が高い。町では「100～299人」が50.0%を占め、「300～999人」が34.4%で次いで高くなっている。

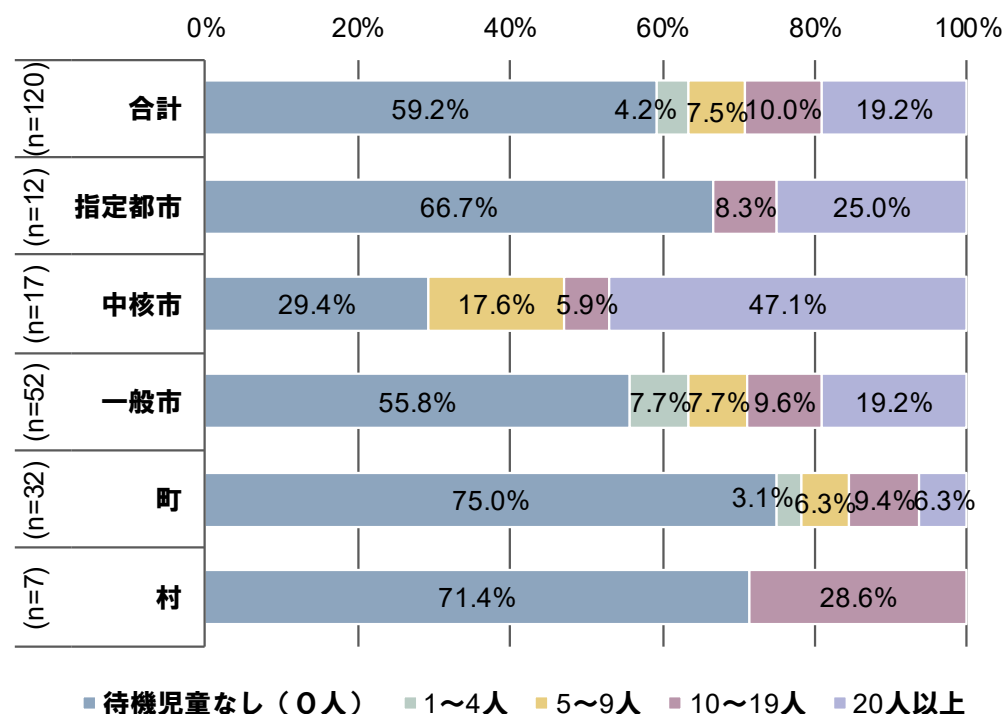
都市類型別の登録児童数(問1)



利用できなかった児童数(待機児童数)

- 利用できなかった児童数(待機児童数)は、全体では「待機児童なし」が59.2%であった。中核市で「待機児童なし」が29.4%と割合が低く、利用できなかった児童数は「20人以上」が47.1%と高い割合を占める。指定都市、一般市、町では「待機児童なし」がそれぞれ66.7%(3分の2)、55.8%、75.0%(4分の3)を占める。

都市類型別の利用できなかった児童数(待機児童数)(問1)



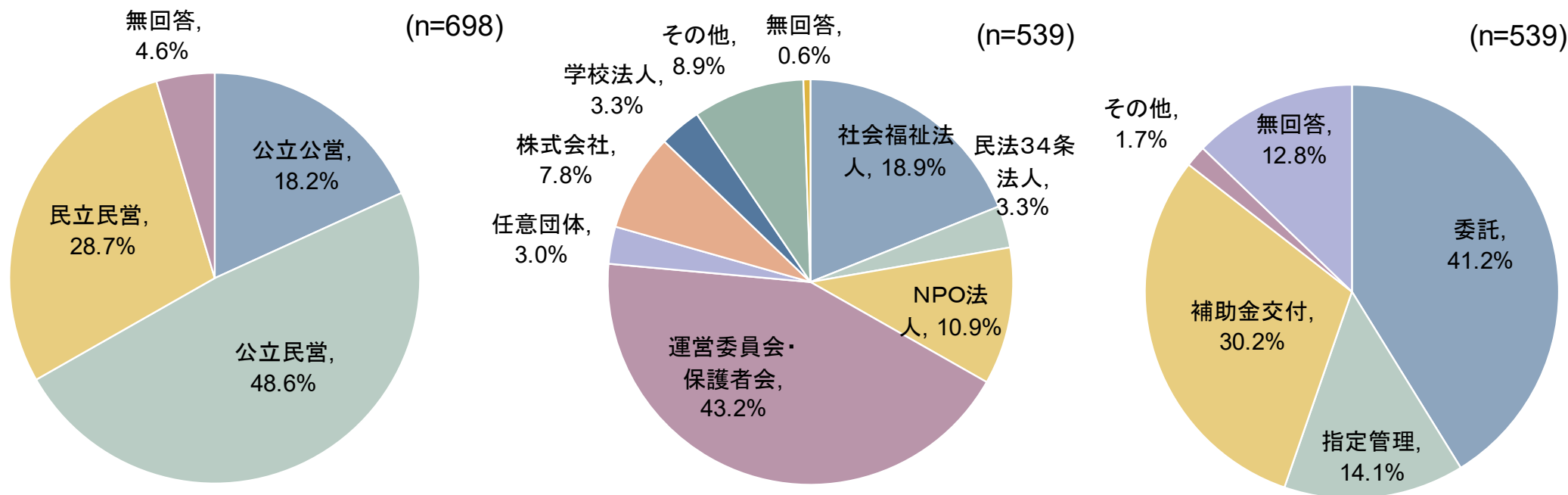
3. 回答放課後児童クラブの状況(1)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

設立運営・運営主体・運営形態

- 放課後児童クラブの設立運営については、「公立民営」が48.6%で最も割合が高く、「民立民営」が28.7%、「公立公営」が18.2%となっている。
- 公立民営、民立民営について運営主体をみると、「運営委員会・保護者会」が43.2%と最も高い割合を占めており、次いで、「社会福祉法人」が18.9%、「NPO法人」が10.9%、「株式会社」が7.8%となっている。また、公立民営、民立民営の運営形態をみると、「委託」が41.2%、「補助金交付」が30.2%で割合が高く、「指定管理」が14.1%である。

設立運営(左図)、公立民営・民立民営の運営主体(中央図)と運営形態(右図)(問1)



3. 回答放課後児童クラブの状況(2)

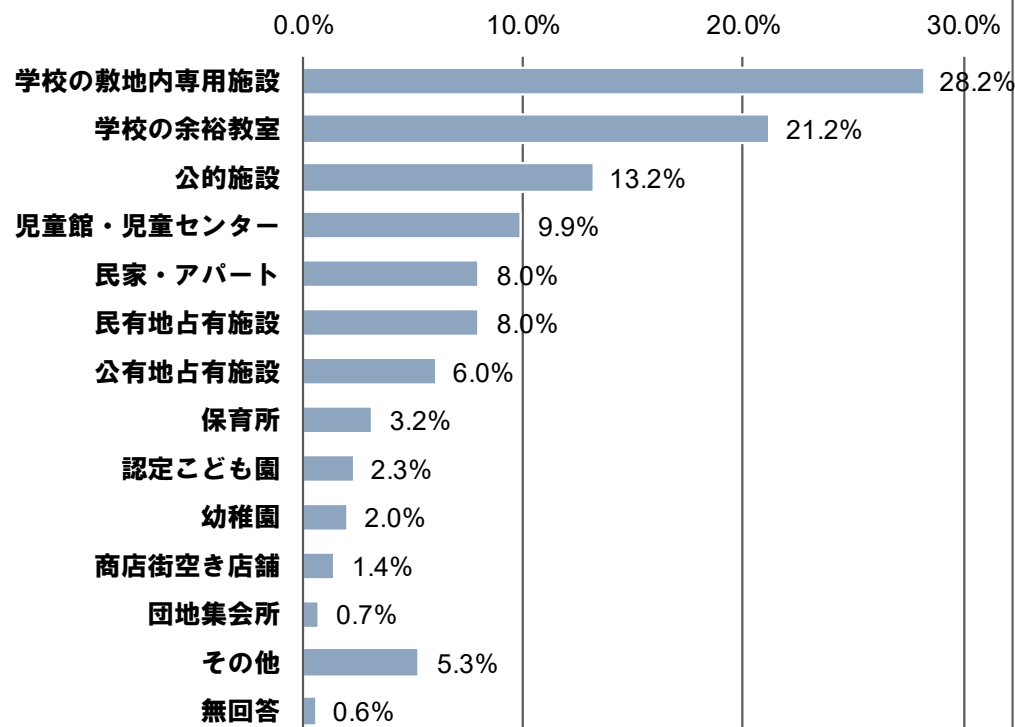
〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

設置場所

- 設置場所は、「学校の敷地内専用施設」が28.2%で最も割合が高く、「学校の余裕教室」が21.2%で次いでおり、学校関係の施設を利用している放課後児童クラブが半数近くになっている。以下、「公的施設」(13.2%)、「児童館・児童センター」(9.9%)、「民家・アパート」(8.0%)、「民有地占有施設」(8.0%)となっている。

設置場所(問2)【複数回答】

(n=698)

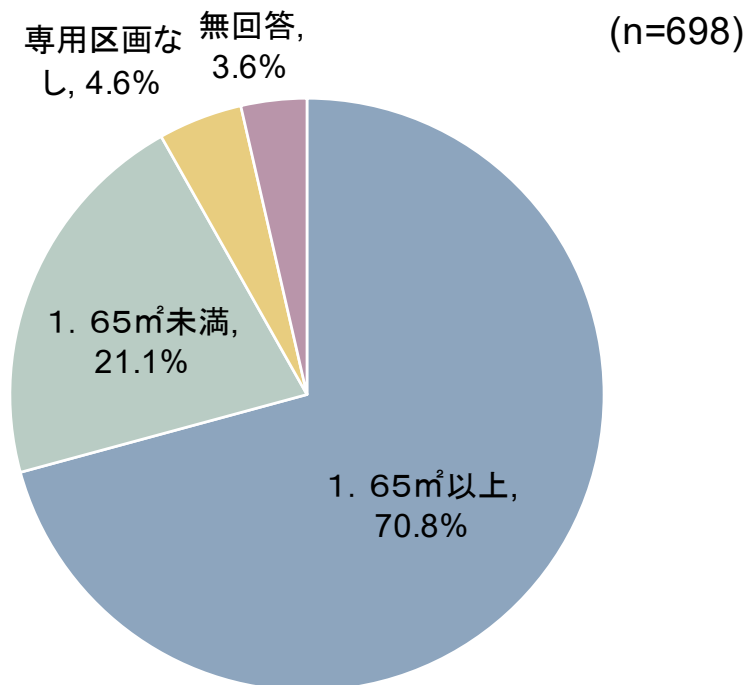


『児童1人当たりの専用区画』の面積

- 『児童1人当たりの専用区画』の面積は、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(平成26年厚生労働省令第63号)に定められている「1.65㎡以上」が70.8%と全体の7割を占める。「1.65㎡未満」が21.1%、「専用区画なし」が4.6%となっている。

『児童1人当たりの専用区画』の面積(問3)

(n=698)



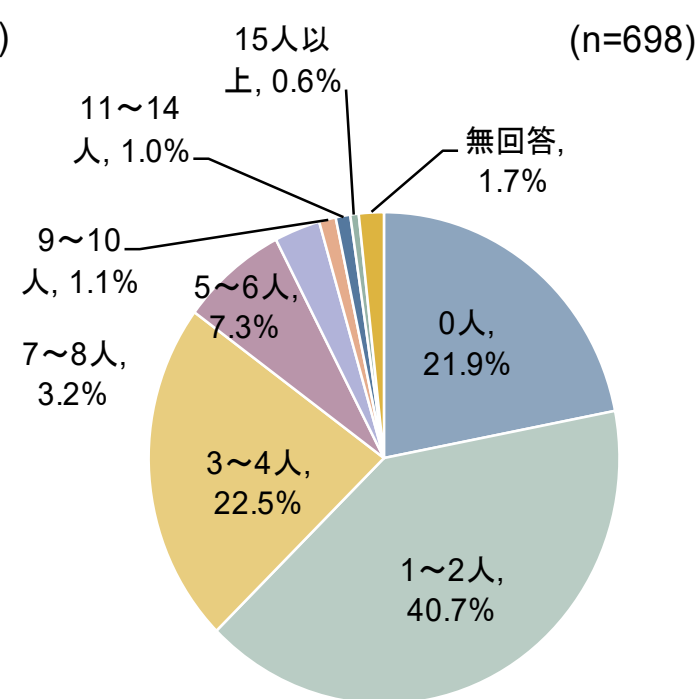
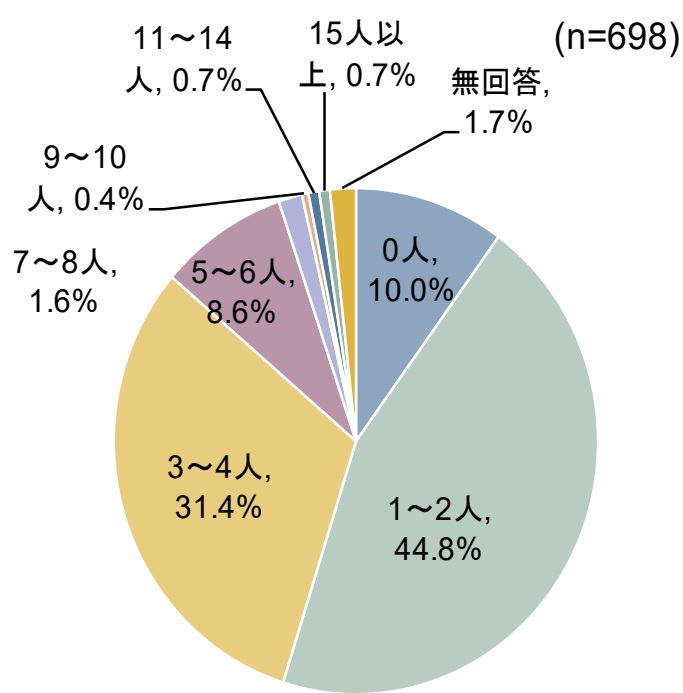
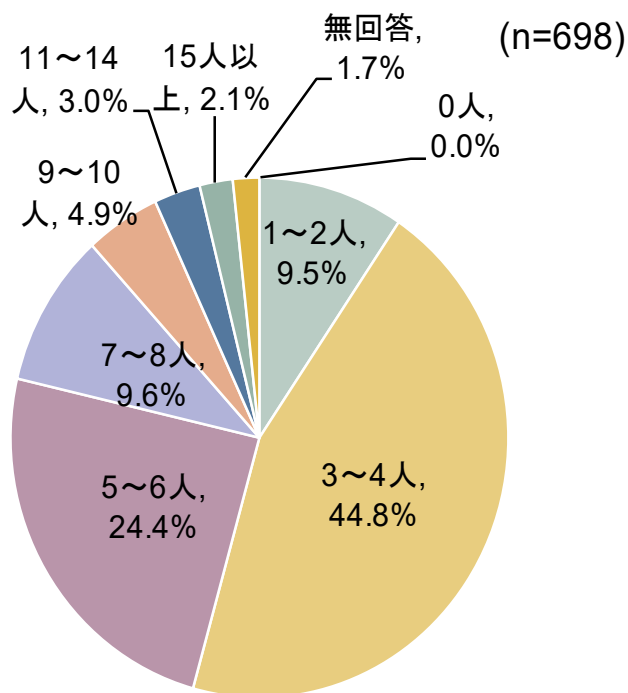
3. 回答放課後児童クラブの状況(3)

[②放課後児童クラブ責任者向け調査]

1日に配置している職員数

- 1日に配置している職員(常勤職員数と常勤職員以外数の合計)数(令和元年12月2日の最大配置人数)は、「3~4人」が44.8%で最も割合が高く、次いで「5~6人」が24.4%で高くなっている。
- 常勤職員数は、「1~2人」が44.8%、「3~4人」が31.4%で割合が高く、これらを合わせると4分の3を超える。
- 常勤職員以外数は、「1~2人」が40.7%で最も割合が高く、「3~4人」が22.5%、「0人」が21.9%となっている。

1日に配置している職員数(常勤職員数と常勤職員以外数の合計)(左図)、
うち、常勤職員(中央図)、常勤職員以外(右図)(令和元年12月2日の最大配置人数)(問6)



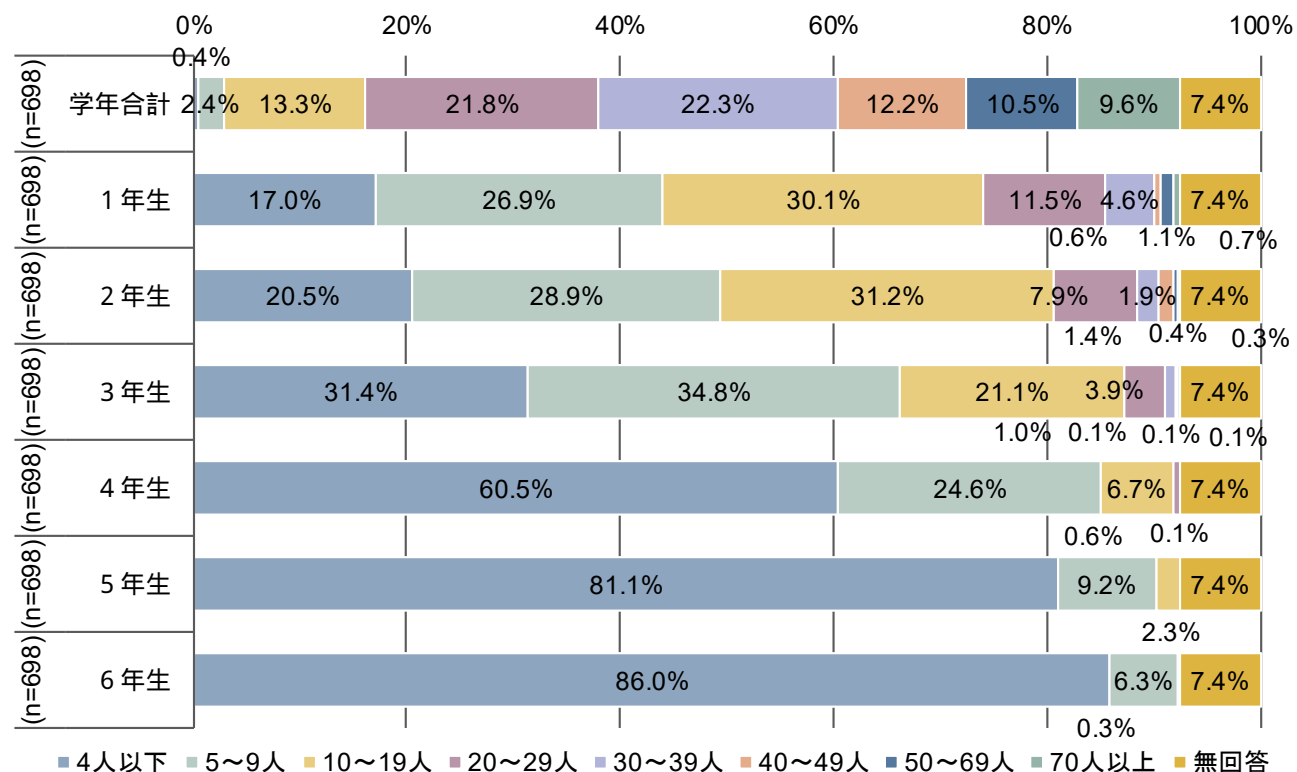
3. 回答放課後児童クラブの状況(4)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

利用児童数

- 利用児童数は、学年全体では、「30～39人」が22.3%で最も割合が高く、「20～29人」(21.8%)、「10～19人」(13.3%)が次いでいる。39人以下で全体のほぼ6割を占める。
- 学年別には、1年生、2年生では「10～19人」が3割超と最も割合が高く、「5～9人」が3割弱と次いで高い。3年生では「5～9人」(34.8%)、「4人以下」(31.4%)が高い。4年生では「4人以下」(60.5%)、「5～9人」(24.6%)が高い。5年生、6年生では、「4人以下」が8割超と割合が高い。

利用児童数(令和元年12月2日～6日の間の平均人数)(問9)



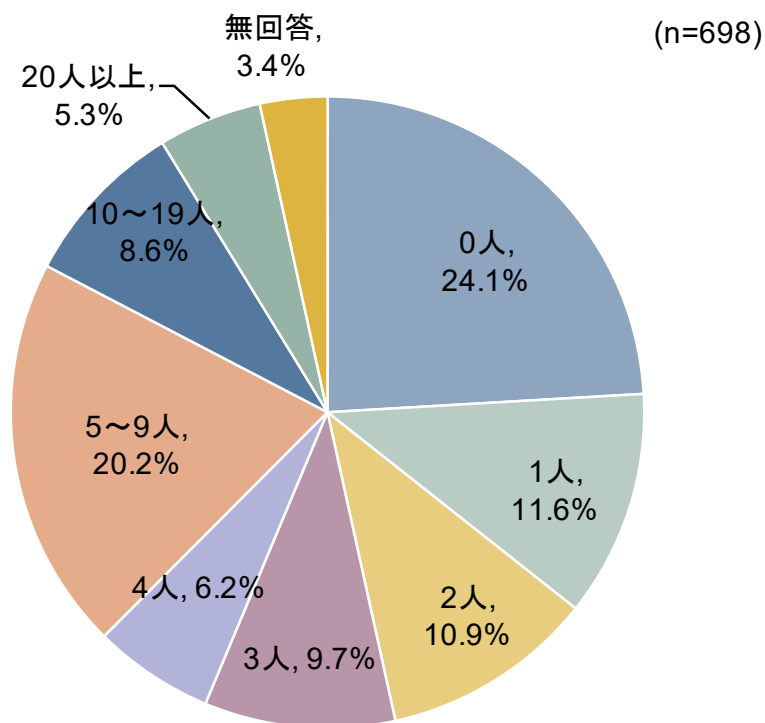
3. 回答放課後児童クラブの状況(5)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

退所児童数

- 退所児童数は、学年全体では「0人」が24.1%で最も割合が高く、次いで「5～9人」(20.2%)が高い。「1人」、「2人」、「3人」がいずれも約1割となっている。

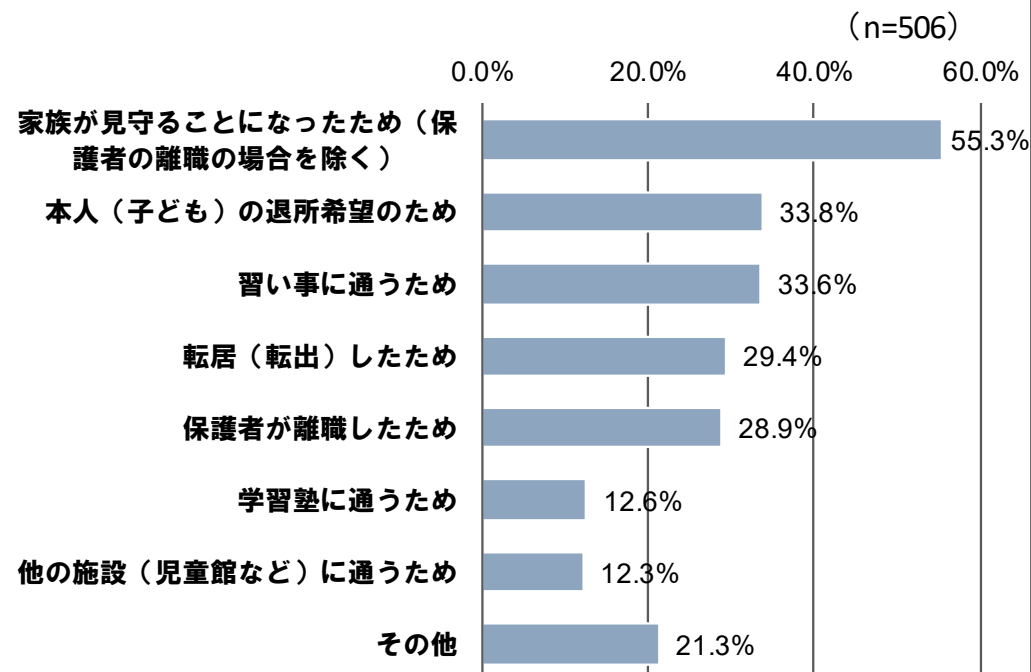
退所児童数(平成31年4月1日～令和元年12月2日)(問9)



退所の主な理由

- 退所児童がいる放課後児童クラブでの退所の主な理由は、「家族が見守ることになったため(保護者の離職の場合を除く)」が55.3%で最も割合が高い。「本人(子ども)の退所希望のため」(33.8%)、「習い事に通うため」(33.6%)、「転居(転出)したため」(29.4%)、「保護者が離職したため」(28.9%)が次いで高い。

〔退所児童がいる場合〕退所の主な理由(問9)【複数回答】



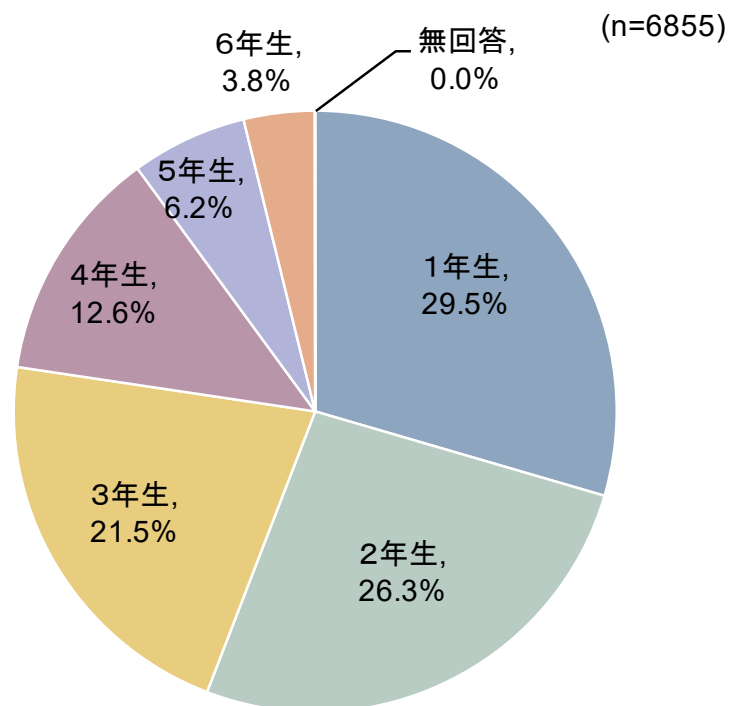
4. 回答保護者の状況(1)

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

子どもの学年

- 子どもの学年は、「1年生」が29.5%、「2年生」が26.3%、「3年生」が21.5%と高い割合を示している。「4年生」が12.6%、「5年生」が6.2%、「6年生」が3.8%となっている。

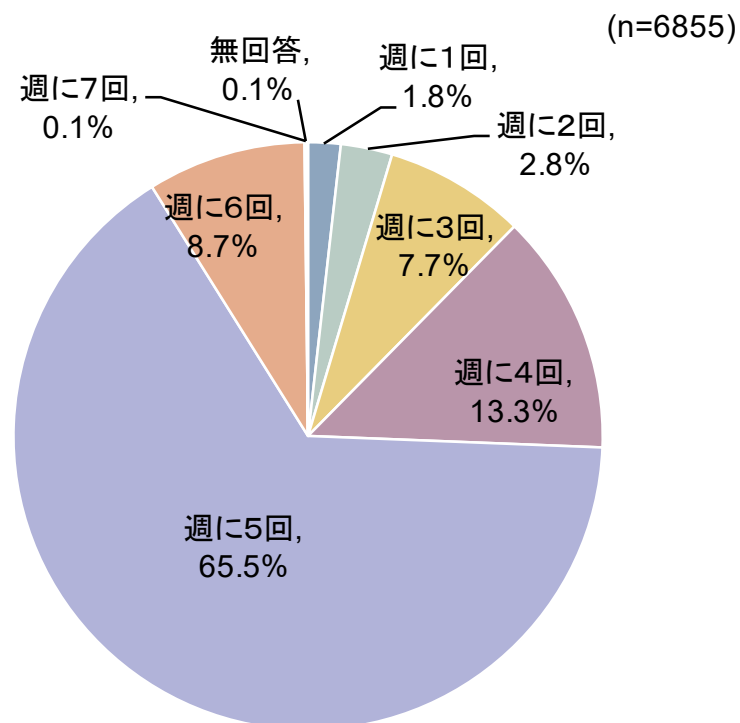
回答者の子どもの学年(問2)



放課後児童クラブの週の利用回数

- 放課後児童クラブの週の利用回数は、「週に5回」が65.5%で最も割合が高い。「週に4回」が13.3%、「週に6回」が8.7%、「週に3回」が7.7%となっている。

放課後児童クラブの週の利用回数(問4)



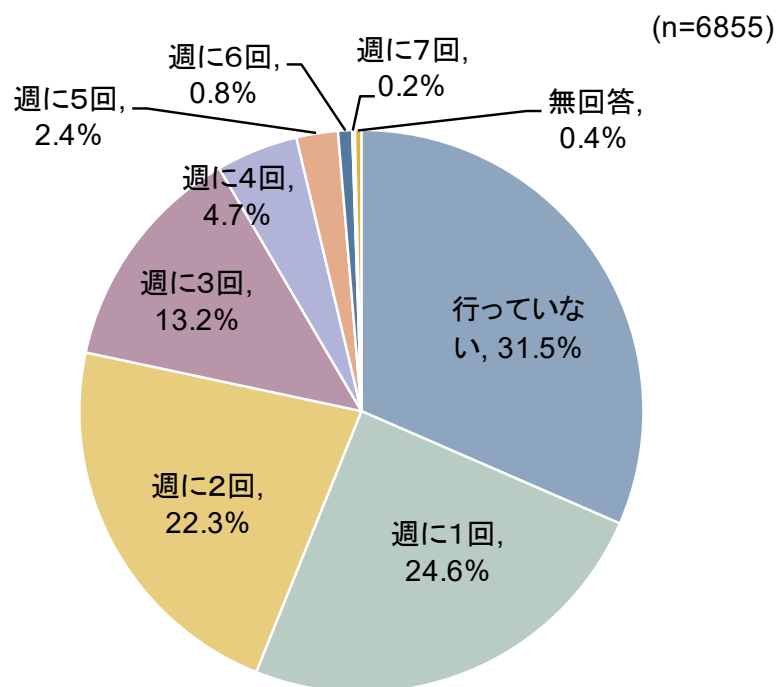
4. 回答保護者の状況(2)

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

放課後児童クラブ以外の放課後に行う活動の週の回数

- 放課後児童クラブ以外で放課後に行っている活動の週の回数は、「行っていない」が31.5%で最も割合が高い。7割近くが習い事や塾等、放課後児童クラブ以外の活動を放課後に行っている。週の回数は、「週に1回」が24.6%で最も割合が高く、「週に2回」が22.3%、「週に3回」が13.2%となっている。

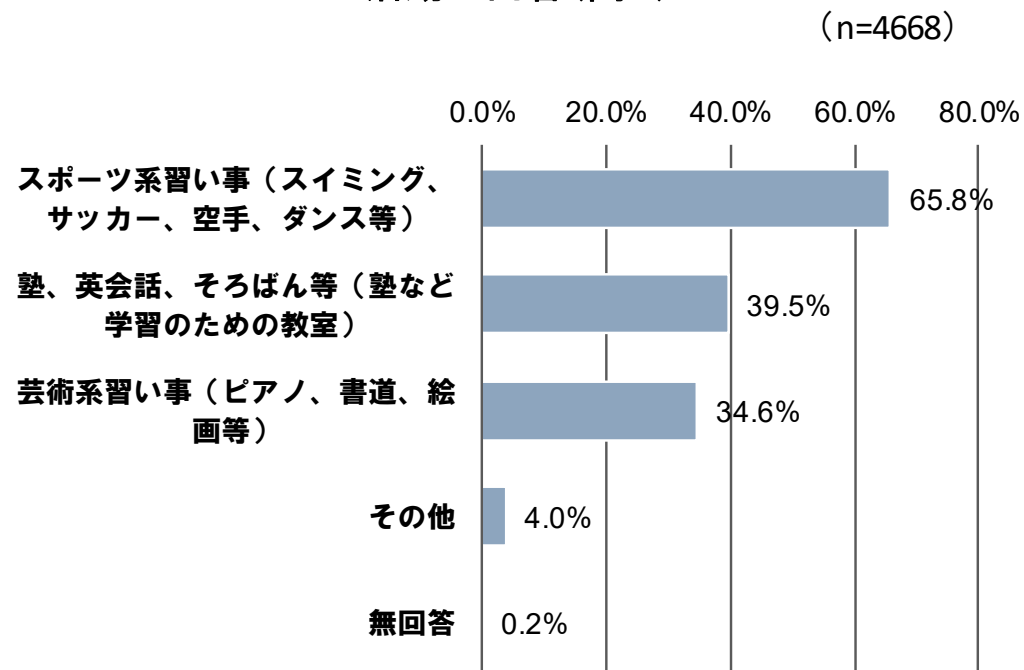
習い事や塾等、放課後児童クラブ以外で放課後に行っている活動の週の回数(問5)



放課後児童クラブ以外の放課後に行う活動の内容

- 放課後児童クラブ以外で放課後に活動を行っている場合の活動の内容は、「スポーツ系習い事(スイミング、サッカー、空手、ダンス等)」が65.8%で最も割合が高い。「塾、英会話、そろばん等(塾など学習のための教室)」が39.5%、「芸術系習い事(ピアノ、書道、絵画等)」が34.6%と次いで高い。

〔放課後児童クラブ以外で放課後に活動を行っている場合の〕活動の内容(問6)



5. 育成支援の実施状況(1)

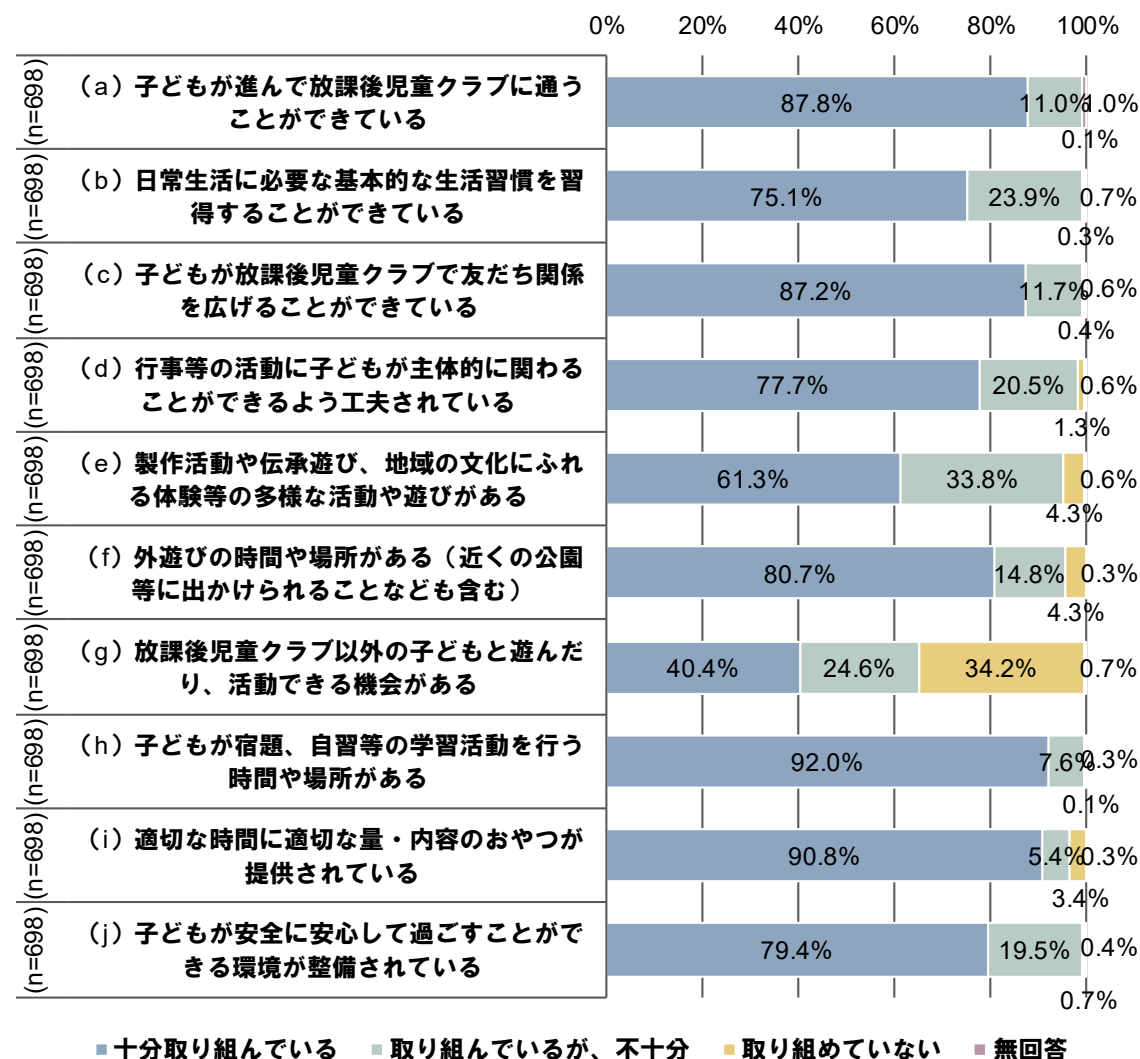
〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

放課後児童クラブにおける活動や育成支援に関する取組の状況

- 放課後児童クラブに対して、(a)～(j)の育成支援に関する取組が十分に行われていると思うかを尋ねた。
- 多くの項目について、「十分取り組んでいる」割合が非常に高く、「取り組めていない」割合が非常に低い。
- (g)について、「十分取り組んでいる」割合が40.4%と他の項目よりもかなり低い。
- (e)について、「十分取り組んでいる」割合が61.3%と他の項目よりも低い。
- (b)、(d)、(j)について、「取り組んでいるが、不十分」の割合が2割程度となっている。

(放課後児童クラブ責任者調査:問10)

育成支援への取組状況



5. 育成支援の実施状況(1)つづき

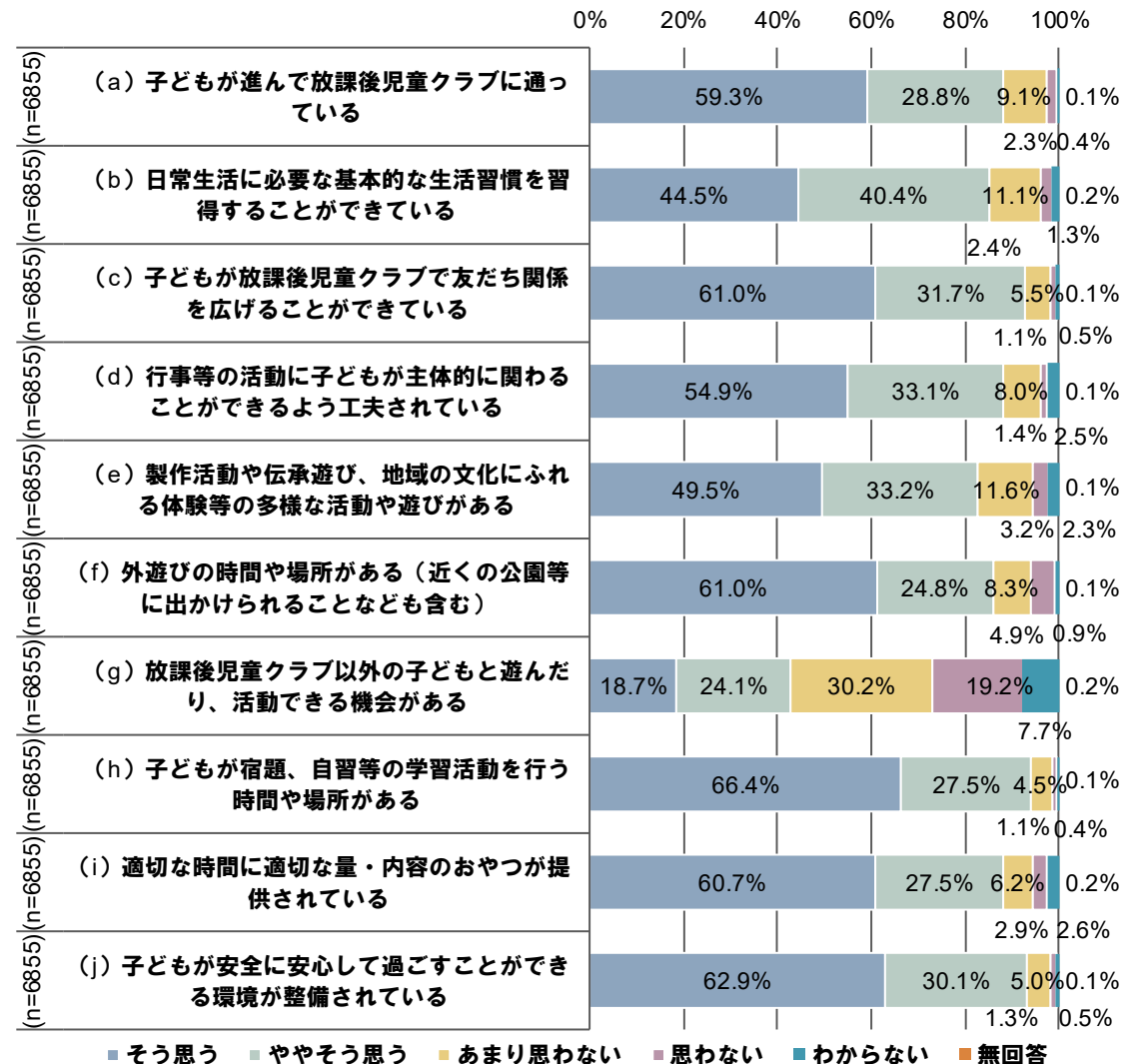
〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

子どもが通う放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況

- 子どもが通っている放課後児童クラブで、(a)~(j)の活動や育成支援に関して、十分に取組んでいると思うかを尋ねた。
- 多くの項目について、「そう思う」割合が6割程度、「ややそう思う」割合が3割程度であり、取組を評価していることが分かる。
- 『(g)放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある』について、「あまり思わない」割合が30.2%、「思わない」割合が19.2%と高い。
- 『(b)日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができる』、『(e)製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある』、『(f)外遊びの時間や場所がある（近くの公園等に出かけられることなども含む）』について、「そう思う」割合が、それぞれ44.5%、49.5%と他の項目に比べて低い。

(保護者調査:問10)

活動や育成支援への取組度合い



5. 育成支援の実施状況(1)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔所管部署別〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

■ 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況((a)~(j))について、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、所管部署別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

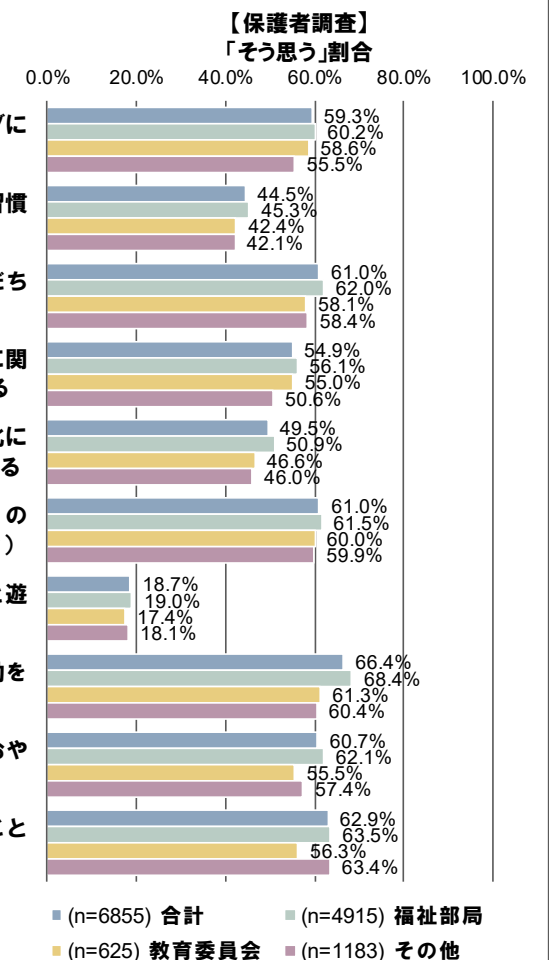
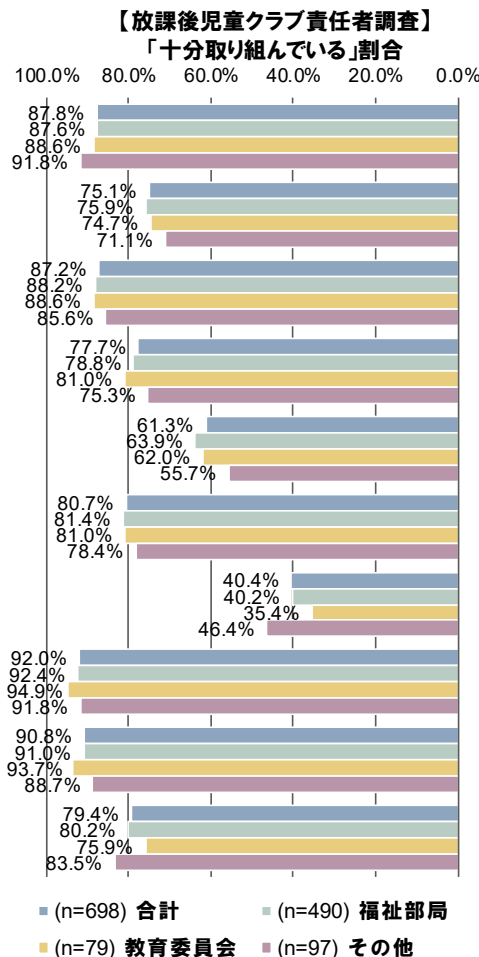
■ 所管部署別には、ほとんど違いがみられない。

【保護者調査】

■ 多くの項目について、『福祉部局』で、「そう思う」割合がやや高くなっている。

〔所管部署別〕 活動や育成支援への取組度合い

(放課後児童クラブ責任者調査:問10、保護者調査:問10)



5. 育成支援の実施状況(1)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔設置運営別〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

■ 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況((a)~(j))について、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、設置運営別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

■ 多くの項目について、『**国立民営**』で「十分取り組んでいる」とする割合がやや高く、『**公立公営**』で、「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

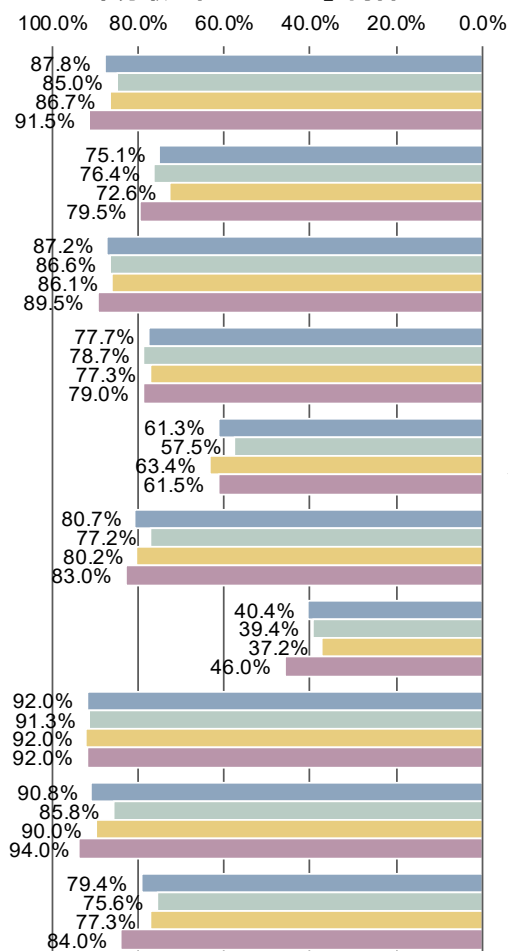
【保護者調査】

■ ほとんどの項目について、『**国立民営**』で、「**そう思う**」割合が高くなっている。

(放課後児童クラブ責任者調査:問10、
保護者調査:問10)

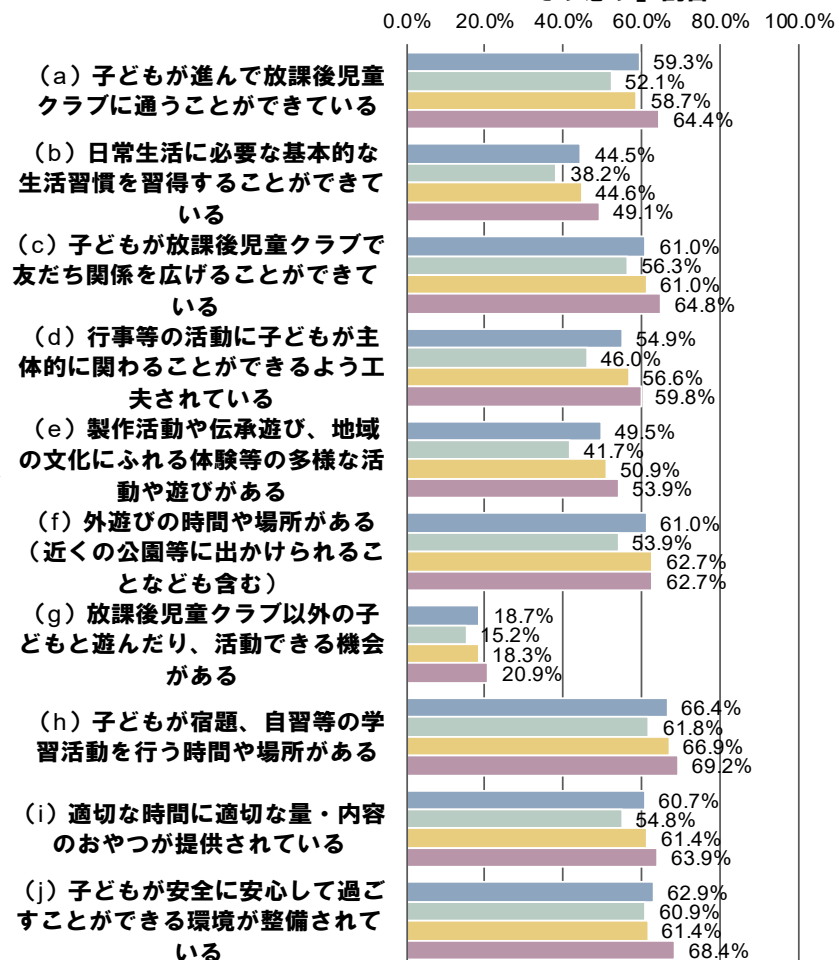
〔設立運営別〕 活動や育成支援への取組度合い

【放課後児童クラブ責任者調査】
「十分取り組んでいる」割合



■ (n=698) 合計 ■ (n=127) 公立公営
■ (n=339) 公立民営 ■ (n=200) 国立民営

【保護者調査】
「**そう思う**」割合



■ (n=6855) 合計 ■ (n=1140) 公立公営
■ (n=2739) 公立民営 ■ (n=1869) 国立民営

5. 育成支援の実施状況(1)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔運営主体別〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

■ 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況((a)~(j))について、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、運営主体別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

■ 多くの項目について、『社会福祉法人』で「十分取り組んでいる」割合が高く、『株式会社』で「十分取り組んでいる」割合が低い。

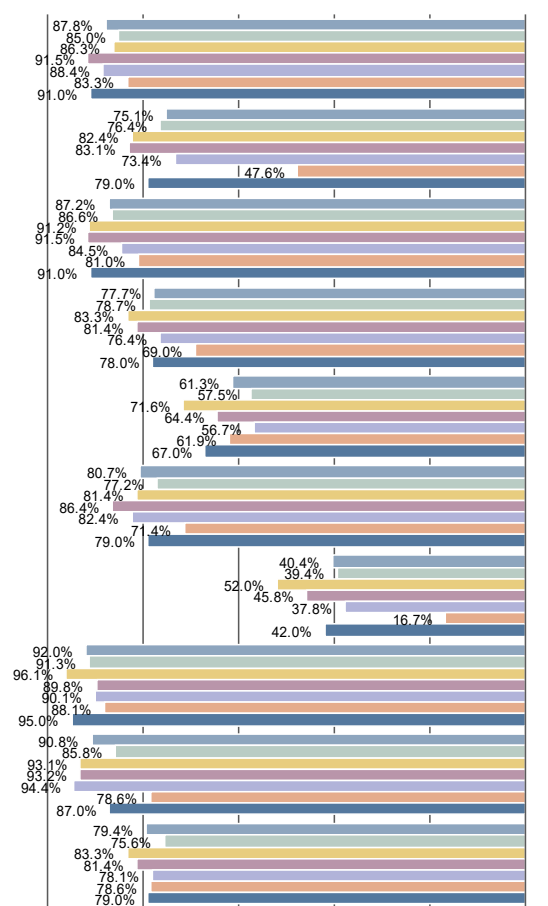
【保護者調査】

■ 保護者が「そう思う」割合は、多くの項目について、『社会福祉法人』、『NPO法人』で高く、ほぼ全ての項目について、『株式会社』で低い。

(放課後児童クラブ責任者調査:問10、保護者調査:問10)

〔運営主体別〕 活動や育成支援への取組度合い

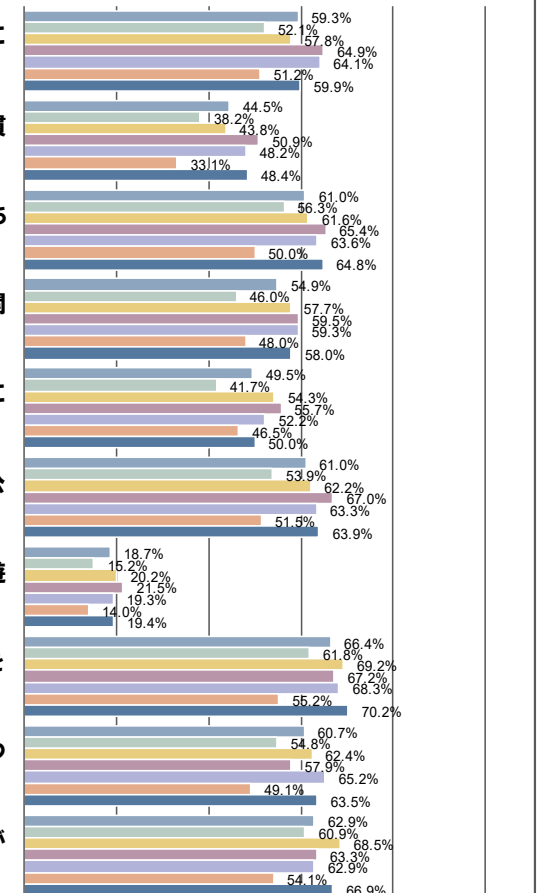
【放課後児童クラブ責任者調査】
「十分取り組んでいる」割合



■ (n=698) 合計
■ (n=102) 社会福祉法人
■ (n=233) 運営委員会・保護者会
■ (n=100) その他
■ (n=127) 公営
■ (n=59) NPO法人
■ (n=42) 株式会社

【保護者調査】
「そう思う」割合

- (a) 子どもが進んで放課後児童クラブに通うことができる
- (b) 日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができる
- (c) 子どもが放課後児童クラブで友だち関係を広げることができる
- (d) 行事等の活動に子どもが主体的に関わることができるよう工夫されている
- (e) 製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある
- (f) 外遊びの時間や場所がある(近くの公園等に出かけられることなども含む)
- (g) 放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある
- (h) 子どもが宿題、自習等の学習活動を行う時間や場所がある
- (i) 適切な時間に適切な量・内容のおやつが提供されている
- (j) 子どもが安全に安心して過ごすことができる環境が整備されている



■ (n=6855) 合計
■ (n=962) 社会福祉法人
■ (n=1904) 運営委員会・保護者会
■ (n=954) その他
■ (n=1140) 公営
■ (n=442) NPO法人
■ (n=344) 株式会社

5. 育成支援の実施状況(1)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔利用児童数別〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

■ 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況((c)~(j))について、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、利用児童数別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

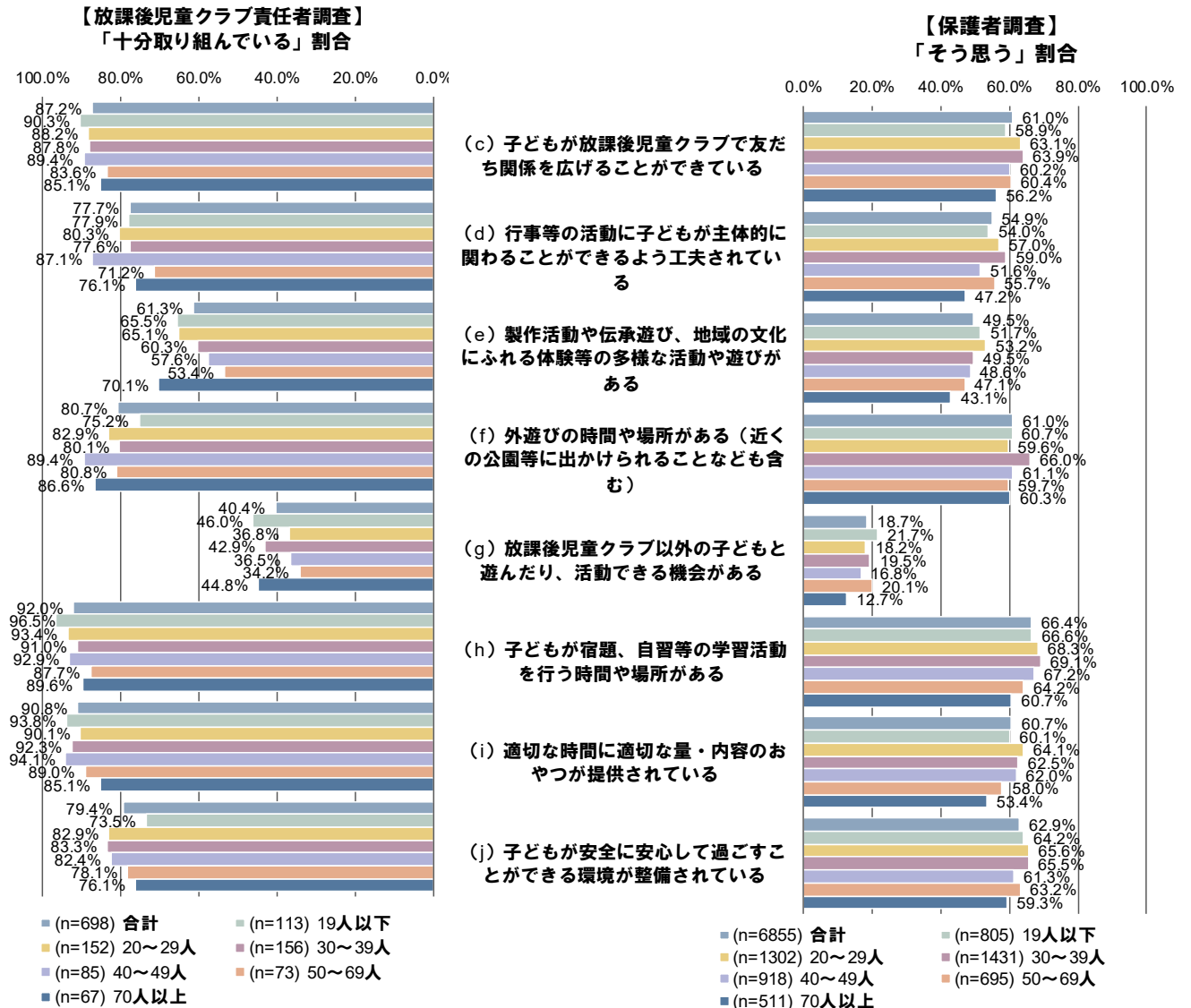
■ 多くの項目について、『50~69人』、『70人以上』で、「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

【保護者調査】

■ ほぼ全ての項目について、『20~29人』、『30~39人』で、「そう思う」割合が高く、『70人以上』で、「そう思う」割合が低くなっている。

(放課後児童クラブ責任者調査:問10、保護者調査:問10)

〔利用児童数別〕 活動や育成支援への取組度合い



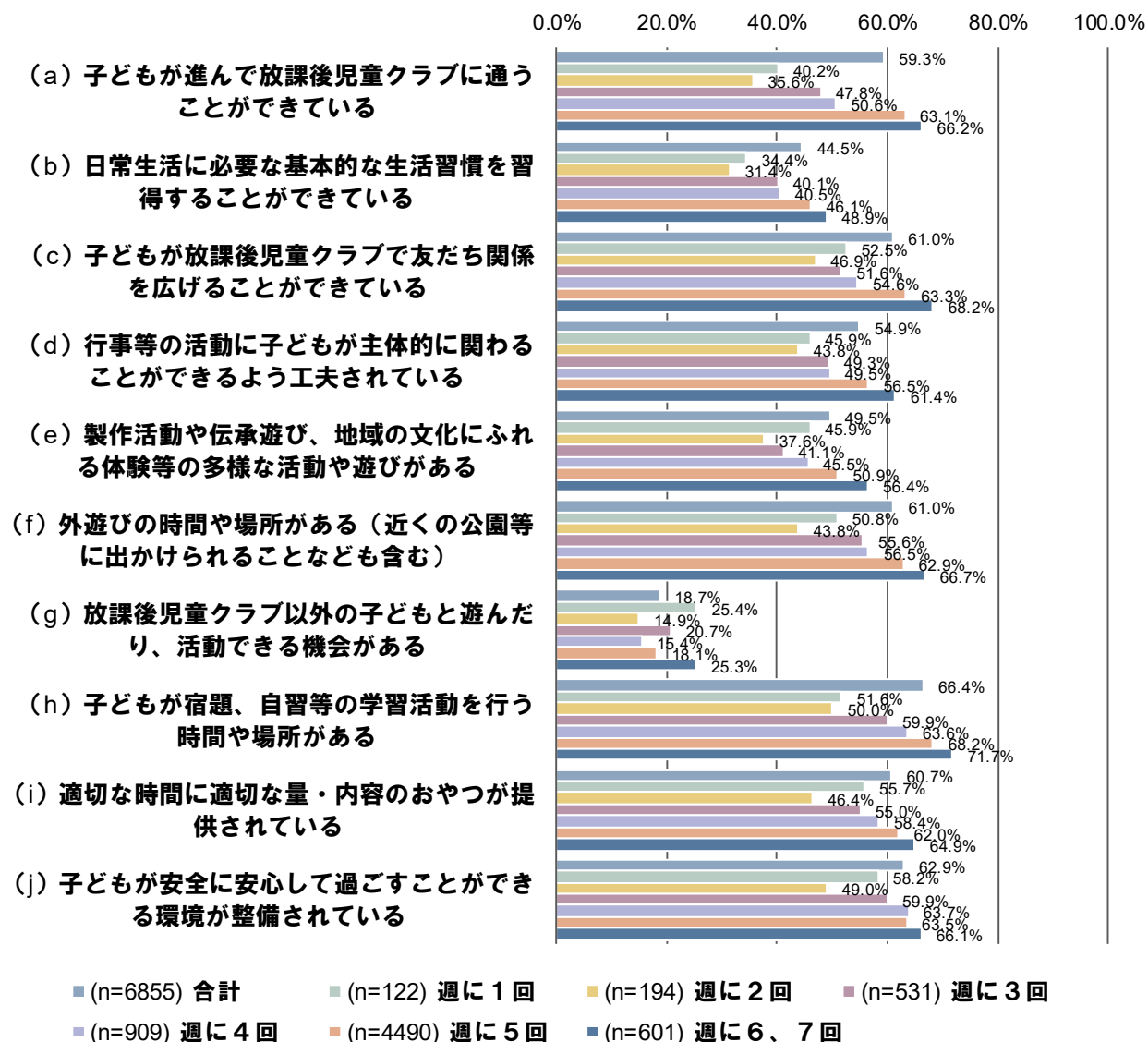
5. 育成支援の実施状況(1)つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔利用回数別〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況

- 『子どもが通っている放課後児童クラブでは、(a)～(j)の活動や育成支援に十分取り組んでいると思うか』に対して、保護者が「そう思う」割合を利用回数別にみた。
- ほぼ全ての項目について、『週に1回』を除き、利用回数が多いほど「そう思う」割合が高くなっている。

〔利用回数別〕 活動や育成支援への取組度合い(「そう思う」割合)



(保護者調査:問10)

5. 育成支援の実施状況(1)つづき

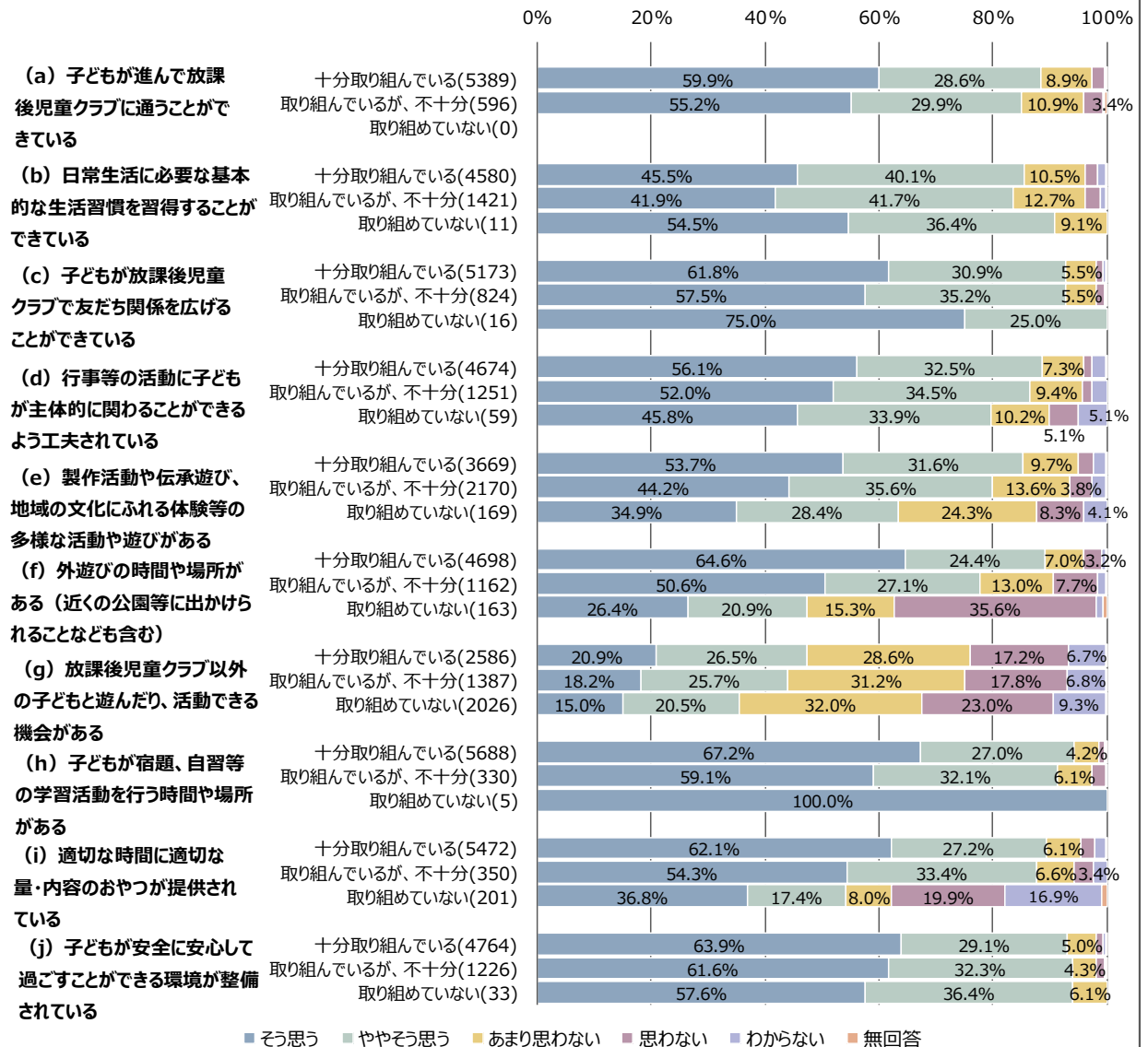
[②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査]

〔放課後児童クラブ責任者と保護者の一致・相違状況〕 放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組の状況

(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査とのクロス分析)

- 放課後児童クラブでの (a)~(j)の活動や育成支援について、放課後児童クラブ責任者の考えと保護者の考えの関係をクロス集計によりみた。
- 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」と考えている場合、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいると(そう)思う」割合は高い。
- 放課後児童クラブ責任者が「取り組めていない」と考えている場合、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいるとあまり思わない・思わない」割合が高い。
- 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」と考えている場合に、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいるとあまり思わない・思わない」とする割合も一定数いる。
- 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」場合と、「取り組んでいるが、不十分」の場合との間では、保護者が「十分取り組んでいると(そう)思う」割合の差は必ずしも大きくはない。

活動や育成支援への取組度合い(放課後児童クラブ責任者調査×横軸:保護者調査)



5. 育成支援の実施状況(1)つづき

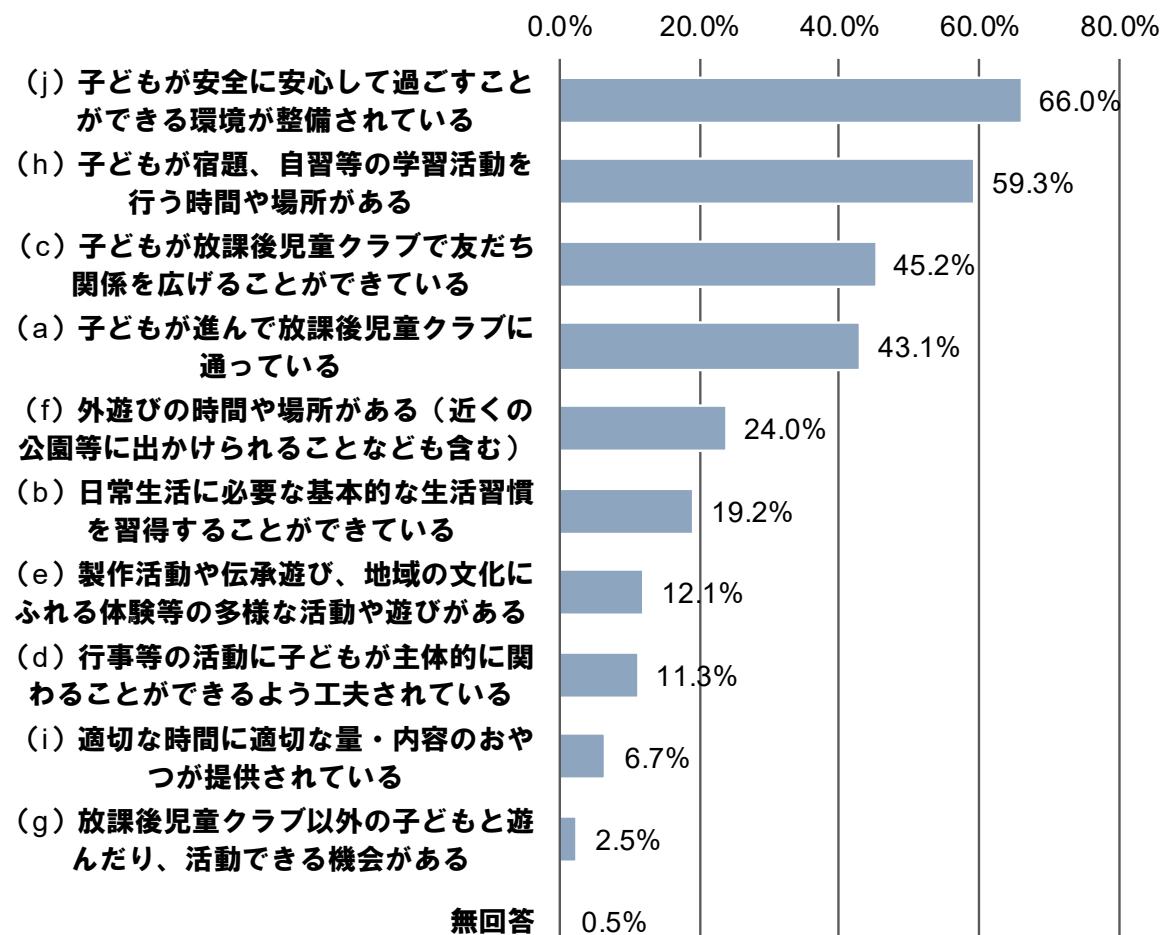
〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

子どもが通う放課後児童クラブでの活動や育成支援に関する取組で重視する項目

- 保護者に対して、子どもが通っている放課後児童クラブで、(a)～(j)の活動や育成支援に関して、重視する項目を3つ選んでもらった。
- (j) が66.0%と最も割合が高く、(h) が59.3%と次いで高くなっている。
- (c)、(a) がそれぞれ、45.2%、43.1%となっている。

活動や育成支援で重視する項目

(n=6855)



(保護者調査:問11)

5. 育成支援の実施状況(1)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

活動や育成支援に関する取組のうち取り組めていない理由【自由記述】	
(a)子どもが進んで放課後児童クラブに通うことができている	<ul style="list-style-type: none"> ○学年別の課題: 高学年(5、6年)も進んで通える学童とするにはもう少し工夫が必要。 ○ゲームとの関係: クラブ内でもはやく帰ってゲームやりたいという声が出ている。
(b)日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得することができる	<ul style="list-style-type: none"> ○サポートの必要性: 声かけ等すればきちんとできるが、全児童が自発的にできているわけではない。 ○家庭での協力の必要性: 学童での支援や指導には限界を感じる。 ○徹底の困難さ: 出席状況も様々であるため、全員に対応を行き渡らせることは難しい。
(c)子どもが放課後児童クラブで友だち関係を広げることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○固定化している: 一つの小学校に一つの学童クラブなので、友達関係もだいたい固定している。 ○学童内に限られる: 学童以外の子どもたちとの交流の場・機会がない。
(d)行事等の活動に子どもが主体的に関わることができるよう工夫されている	<ul style="list-style-type: none"> ○余裕がない: 時間や予算の関係で十分な取り組みができていない。 ○子ども主体の難しさ: 子どもたちは主体的な意見を交わすが、行事では支援員のサポートが必要。 ○進めづらい: 毎日来るわけでもないのでも組織的な活動やリーダーが育ちにくい。
(e)製作活動や伝承遊び、地域の文化にふれる体験等の多様な活動や遊びがある	<ul style="list-style-type: none"> ○時間がない: 放課後の時間に余裕がなく、製作等をする時間の確保ができていない。 ○機会がない: 製作活動は行なっているが、伝承遊び、地域の文化にふれる体験がない。
(f)外遊びの時間や場所がある(近くの公園等に出かけられることなども含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○時間がない: 平日は宿題をしたり、おやつを食べたりすることで、十分外遊びができていない。 ○場所がない: 近くに公園や学校のグラウンドなど外遊びできる場所がない。 ○せまい: 児童の人数を考えても、活動場所がかなり狭い。
(g)放課後児童クラブ以外の子どもと遊んだり、活動できる機会がある	<ul style="list-style-type: none"> ○遊ばない、遊べない: 保険等の関係もあり、他の児童とは遊ばない決まりとなっている。 ○機会がない: 限られたクラブの活動時間の中ではクラブ児以外の子と遊ぶ機会が得られない ○余裕がない: 学童の活動や行事をこなすことで手いっぱい。 ○時間がない: 放課後児童クラブ以外の子どもたちと遊ぶ場所、時間がない。
(h)子どもが宿題、自習等の学習活動を行う時間や場所がある	<ul style="list-style-type: none"> ○ない: 学年にバラつきがあり、宿題をするのに専用スペースがなく遊びの場と併用(下校時間が違う)。 ○せまい: 1クラブあたりの人数が定員を大幅にオーバーしており、十分なスペースが取れない。
(i)適切な時間に適切な量・内容のおやつが提供されている	<ul style="list-style-type: none"> ○提供していない: クラブの設置場所が学校内であること、アレルギー対応が難しいことから、取り組めていない。 ○持参としている: 各家庭から自参したおやつを決められた時間で食べている。
(j)子どもが安全に安心して過ごすことができる環境が整備されている	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の老朽化: 利用している公民館の建物自体が古く、衛生面・安全面においては不安な所もある。 ○安全面の懸念: 学校から学童まで距離があり、毎日歩いて通所していることから、道のりが毎日心配。 ○スペースが狭い: クラブスペースが狭いためトラブルが起こりやすい ○専用施設ではない: 学童専用の施設ではない為、学童としての十分な安全対策に取りくむには限界がある。 ○人材不足: 今後クラブを担っていける新しい(若い)世代の人材の確保が難しい。

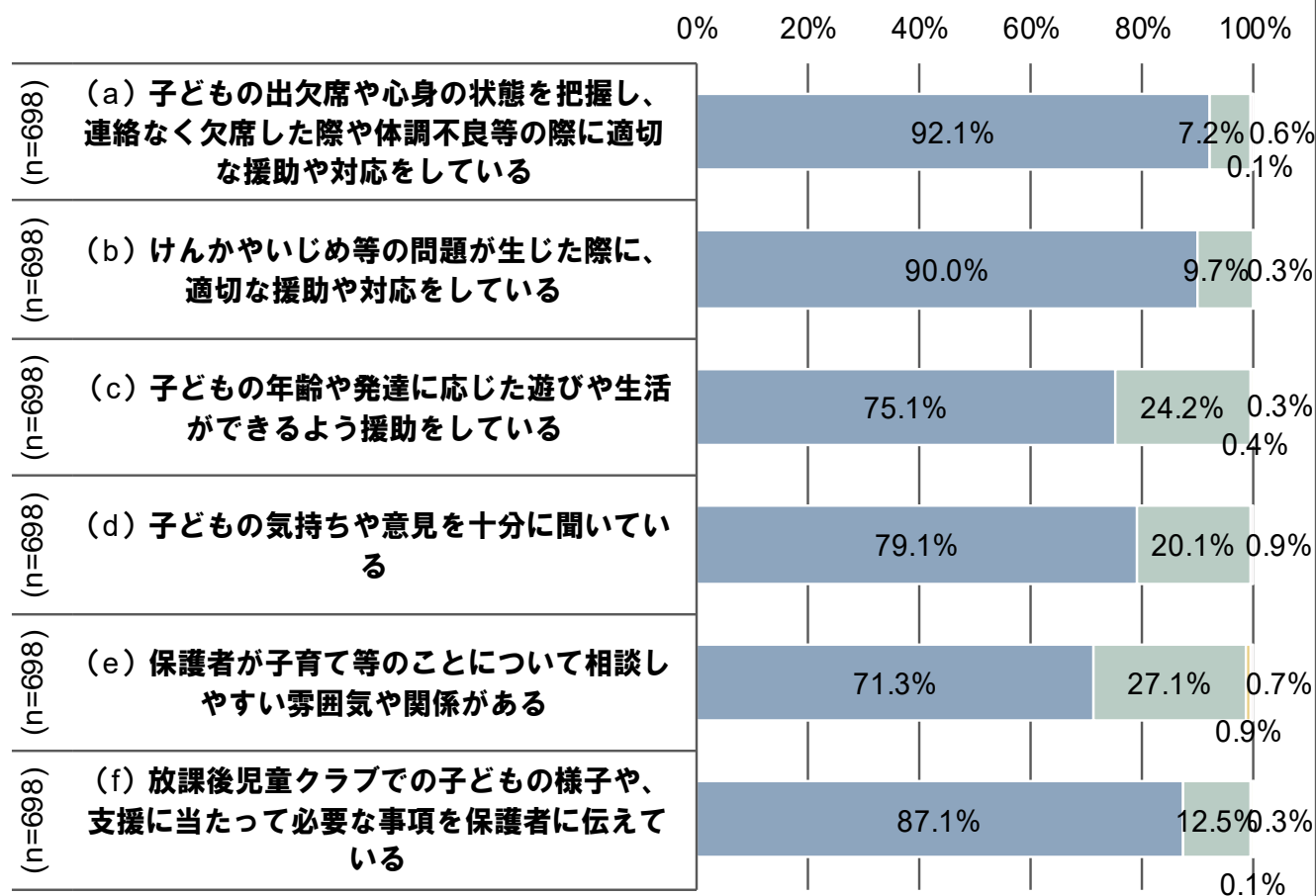
5. 育成支援の実施状況(2)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

放課後児童クラブにおける職員による子どもや保護者への関わりの状況

- 放課後児童クラブに対して、(a)～(f)について、職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかを尋ねた。
- 多くの項目で、「十分取り組んでいる」割合が非常に高い。全ての項目で「取り組めていない」割合が低くなっている。
- (e)27.1%、(c)24.2%、(d)20.1%について、いずれも「取り組んでいるが、不十分」の割合が2割を超えている。

職員による子どもや保護者への関わりの状況



(放課後児童クラブ責任者調査:問11)

■ 十分取り組んでいる ■ 取り組んでいるが、不十分 ■ 取り組めていない ■ 無回答

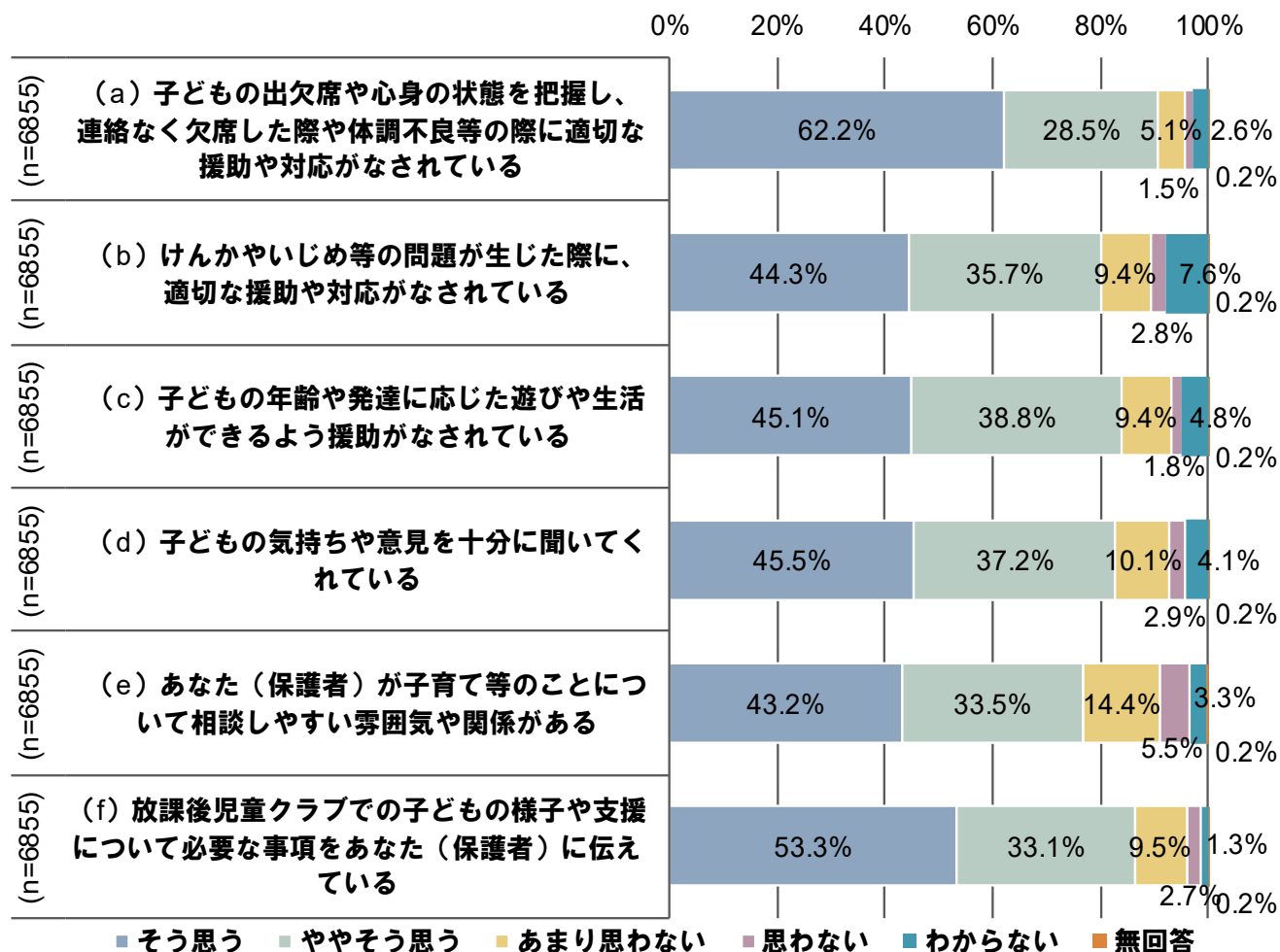
5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

子どもが通う放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い

- 保護者に対して、子どもが通う放課後児童クラブにおいて、(a)～(f)の『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わりについて、十分に取り組んでいると思うかを尋ねた。
- (a)、(f)について、「そう思う」割合が、それぞれ62.2%、53.3%と高い。
- (b)、(c)、(d)、(e)について、「そう思う」割合が45%程度、「ややそう思う」が35%程度と、両者を合わせて8割程度になっている。

職員による子どもや保護者への関わり度合い



(保護者調査:問12)

5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔所管部署別〕 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い

■ (a)～(f)の職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかについて、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、所管部署別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

■ (c)などの項目について、『教育委員会』で、「十分取り組んでいる」割合が高くなっている。

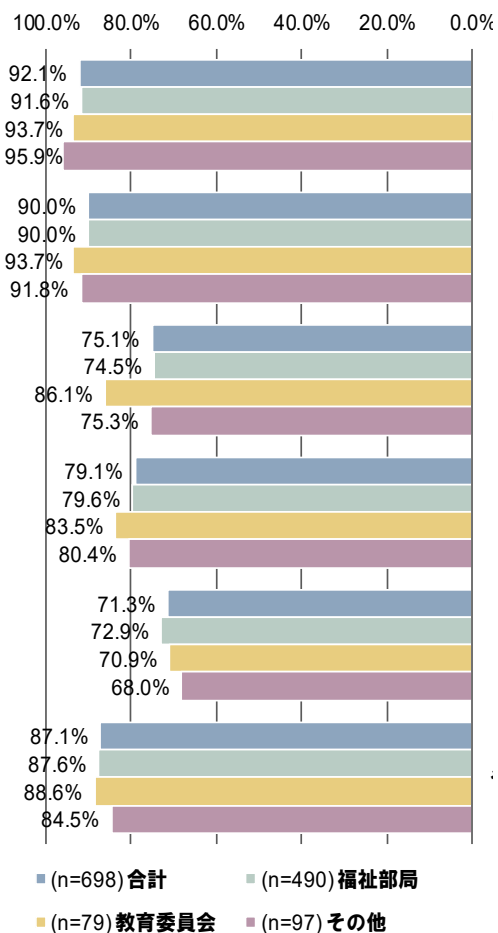
【保護者調査】

■ (b)などの項目について、『福祉部局』で、「そう思う」割合が高くなっている。

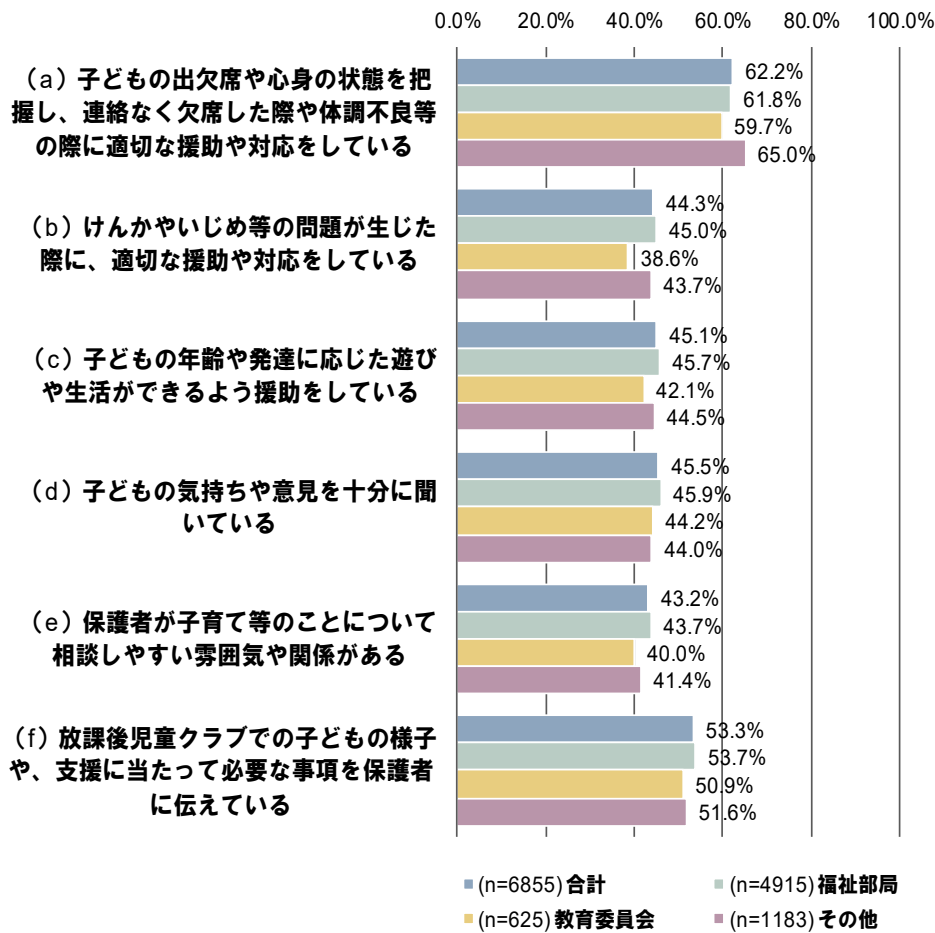
(放課後児童クラブ責任者調査:問11、
保護者調査:問12)

〔所管部署別〕 職員による子どもや保護者への関わり度合い

放課後児童クラブ責任者調査
「十分取り組んでいる」割合



保護者調査
「そう思う」割合



5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔設置運営別〕 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い (放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

■ (a)~(f)の職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかについて、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、設立運営別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

■ (d)について、『国立民営』で「十分取り組んでいる」割合がやや高い。

■ その他の項目については、違いはほとんどみられない。

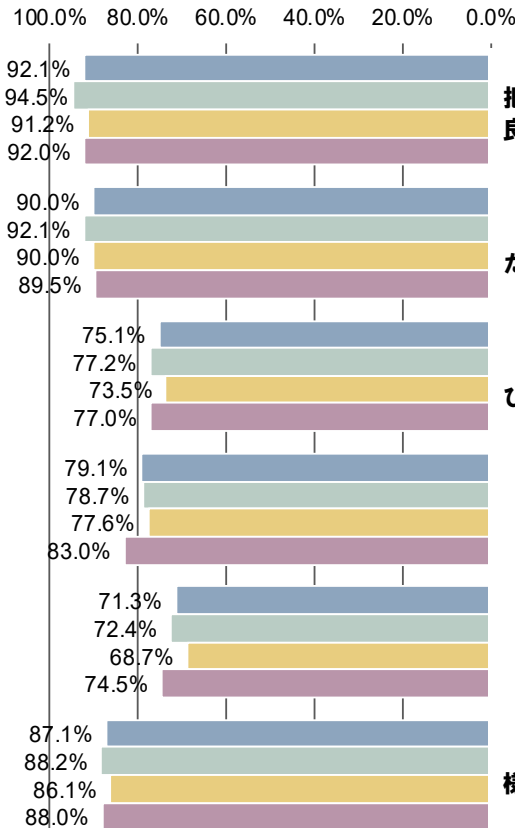
【保護者調査】

■ ほとんどの項目について、『国立民営』で「そう思う」割合が最も高く、『公立民営』で次いで高くなっている。

(放課後児童クラブ責任者調査:問11、
保護者調査:問12)

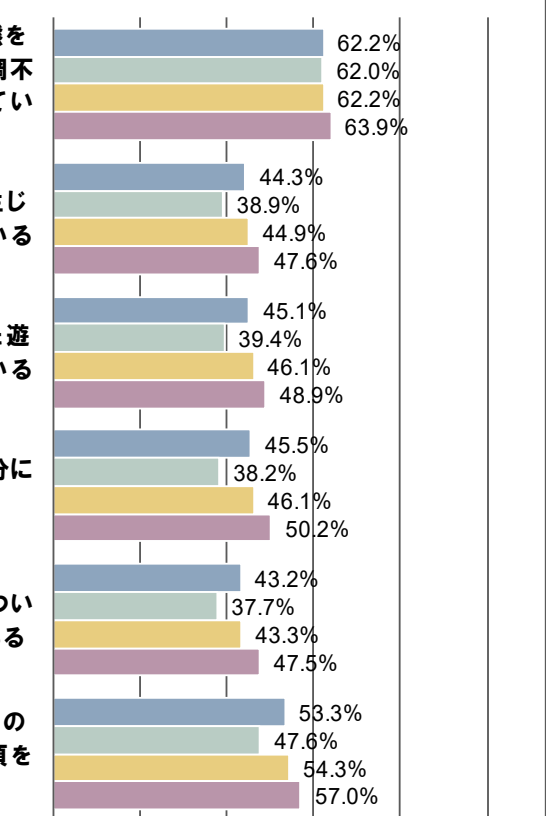
〔設置運営別〕 職員による子どもや保護者への関わり度合い

【放課後児童クラブ責任者調査】
「十分取り組んでいる」割合



■ (n=698) 合計
■ (n=127) 公立公営
■ (n=339) 公立民営
■ (n=200) 国立民営

【保護者調査】
「そう思う」割合



■ (n=6855) 合計
■ (n=1140) 公立公営
■ (n=2739) 公立民営
■ (n=1869) 国立民営

5. 育成支援の実施状況(2)つづき

[②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査]

[運営主体別] 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い (放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

■ (a)~(f)の職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかについて、放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の結果を、運営主体別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

■ (a)、(b)、(d)、(e)について、『社会福祉法人』、『NPO法人』で「十分取り組んでいる」割合が高い。

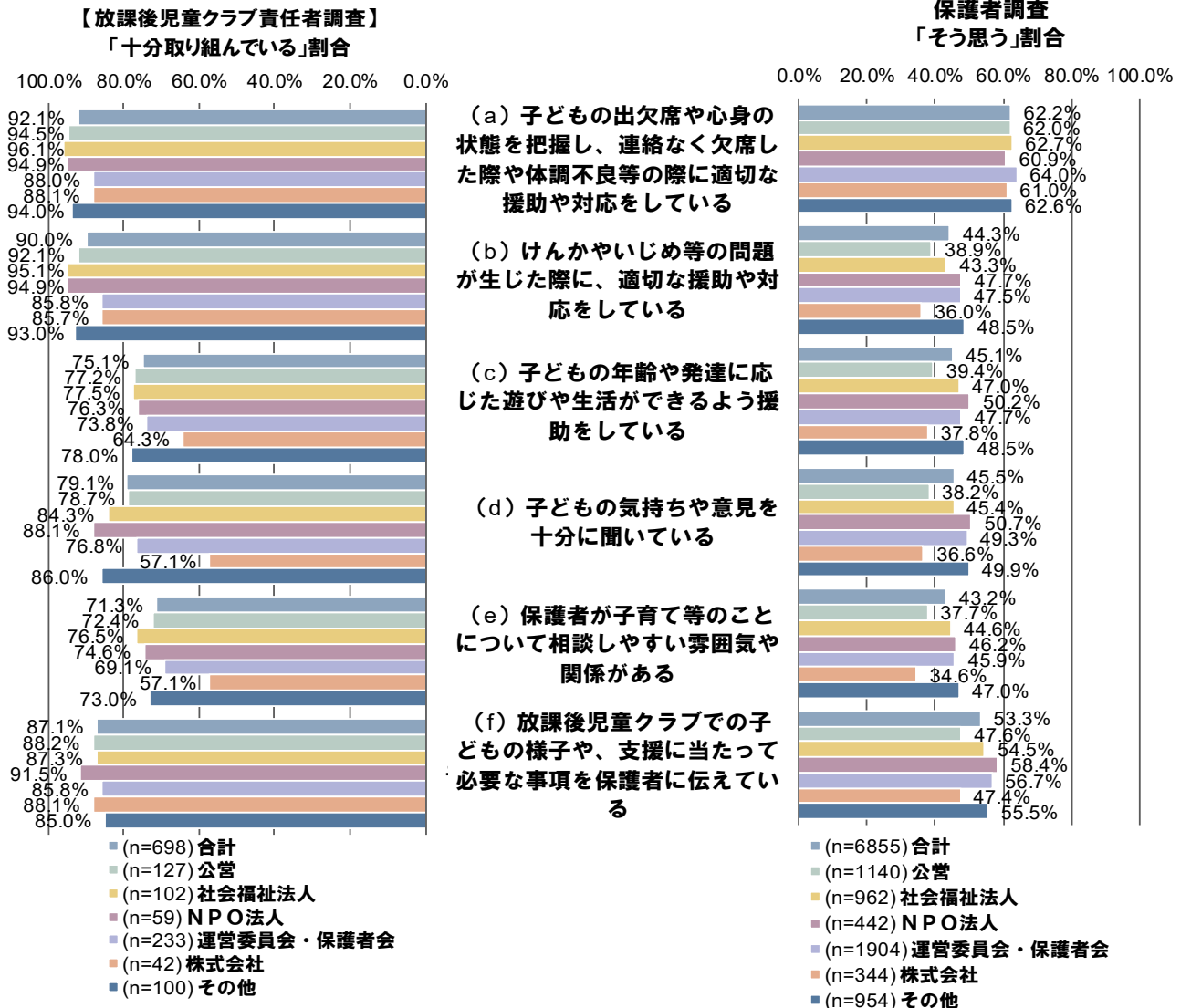
■ (c)、(d)、(e)について、『株式会社』で「十分取り組んでいる」割合が低い。

【保護者調査】

■ (b)、(c)、(d)、(e)、(f)について、保護者が「そう思う」割合は、『株式会社』で最も低く、次いで『公営』で低い。

(放課後児童クラブ責任者調査:問11、
保護者調査:問12)

[運営主体別] 職員による子どもや保護者への関わり度合い



5. 育成支援の実施状況(2)つづき

[②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査]

【利用児童数別】 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い (放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査の比較)

■ (a)~(f)の職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていると思うかについて、放課後児童クラブ責任者調査表と保護者調査の結果を、利用児童数別に比較した。

【放課後児童クラブ責任者調査】

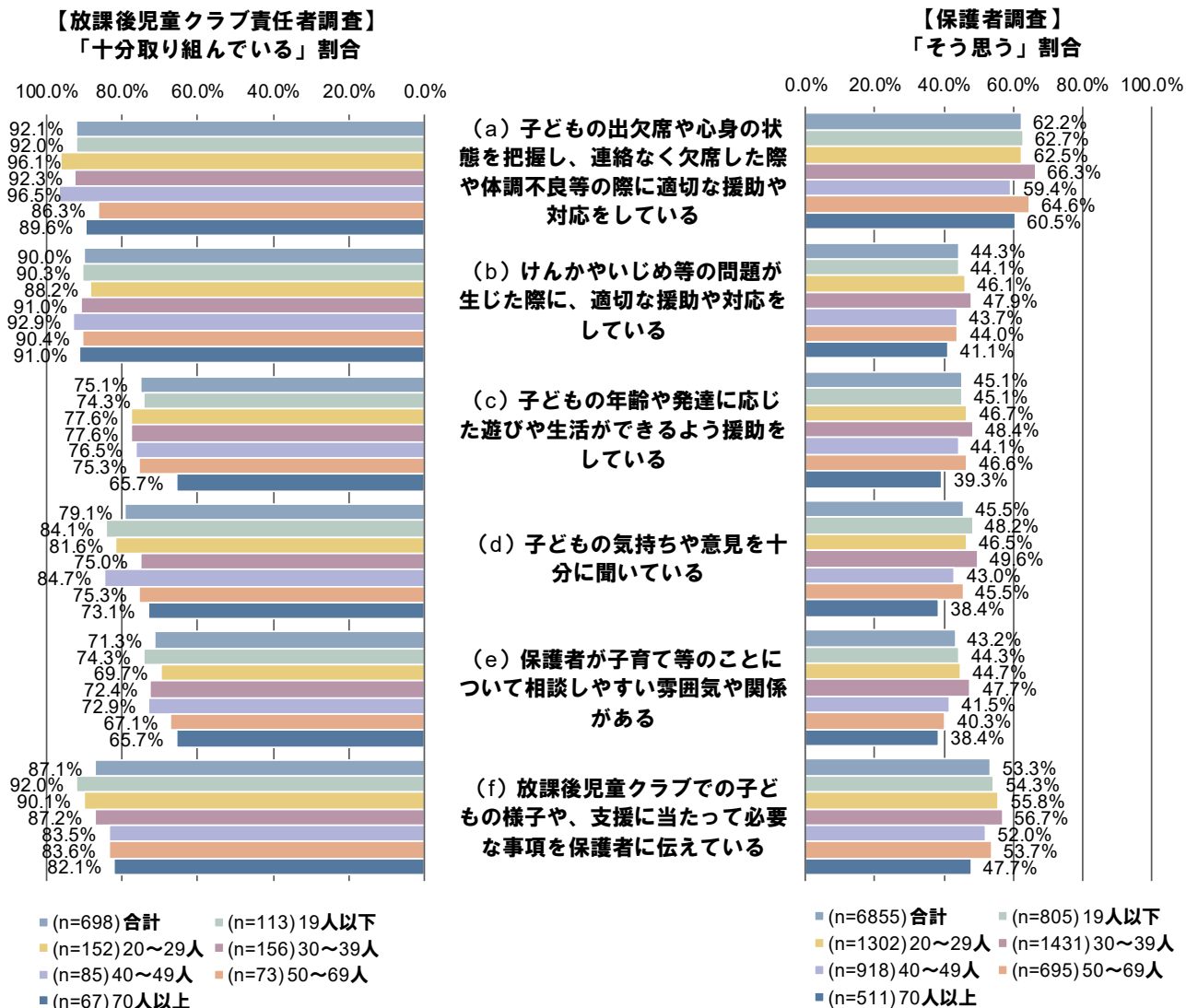
■ (f)について、利用児童数数が少ない場合、「十分取り組んでいる」割合が高い。

■ (c)、(d)、(e)について、『70人以上』で、「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

【保護者調査】

■ 多くの項目について、『70人以上』で、「そう思う」割合が低くなっている。

【利用児童数別】 職員による子どもや保護者への関わり度合い



(放課後児童クラブ責任者調査:問11、保護者調査:問12)

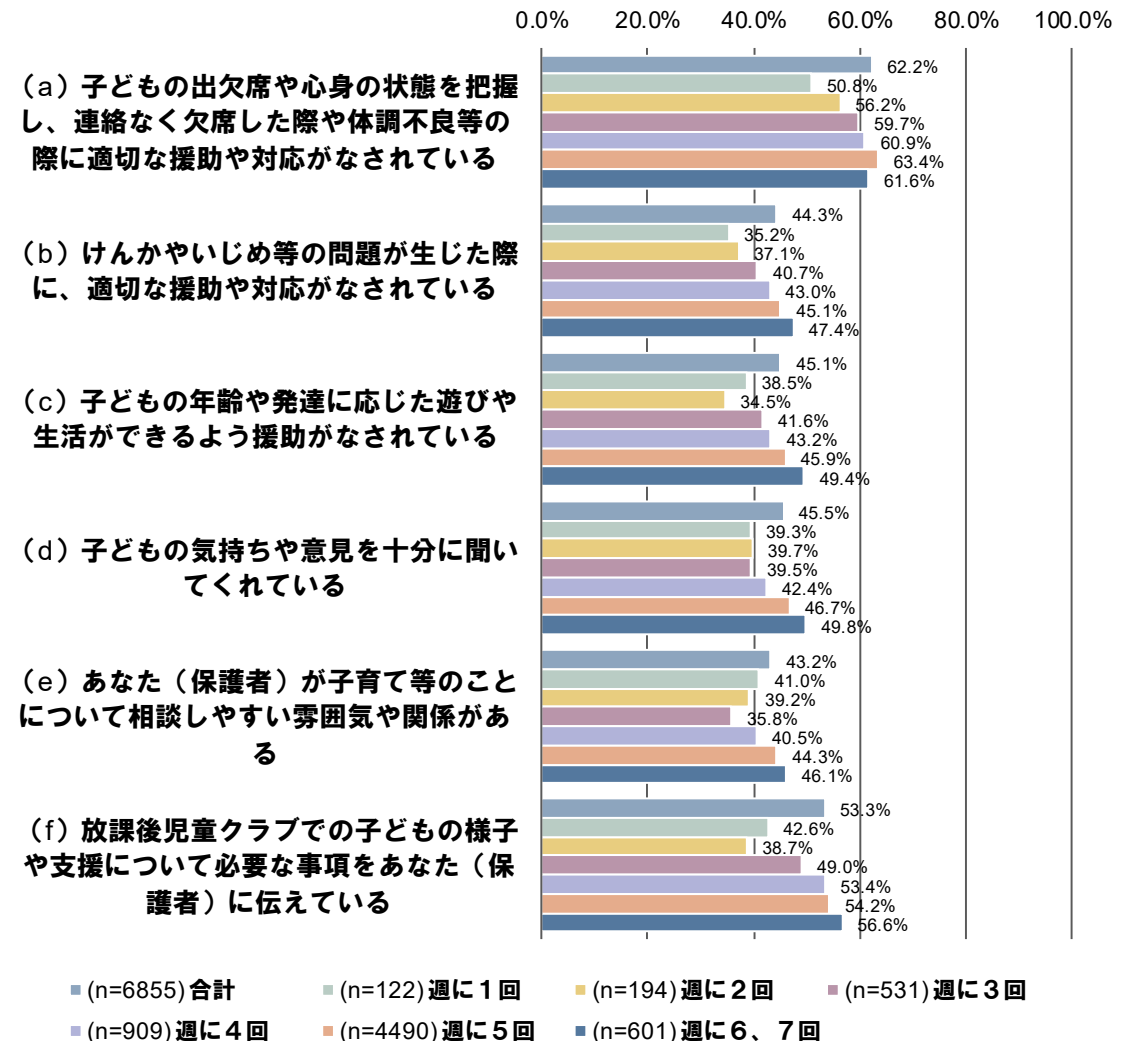
5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔利用回数別〕 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い

- 保護者に対して、子どもが通う放課後児童クラブにおいて、(a)～(f)の『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わりについて、十分に取り組んでいると思うかを尋ねた。
- 多くの項目について、利用回数が多いほど「そう思う」割合が高くなっている。

〔利用回数別〕 職員による子どもや保護者への関わりの度合い (「そう思う」割合)



(保護者調査:問12)

5. 育成支援の実施状況(2)つづき

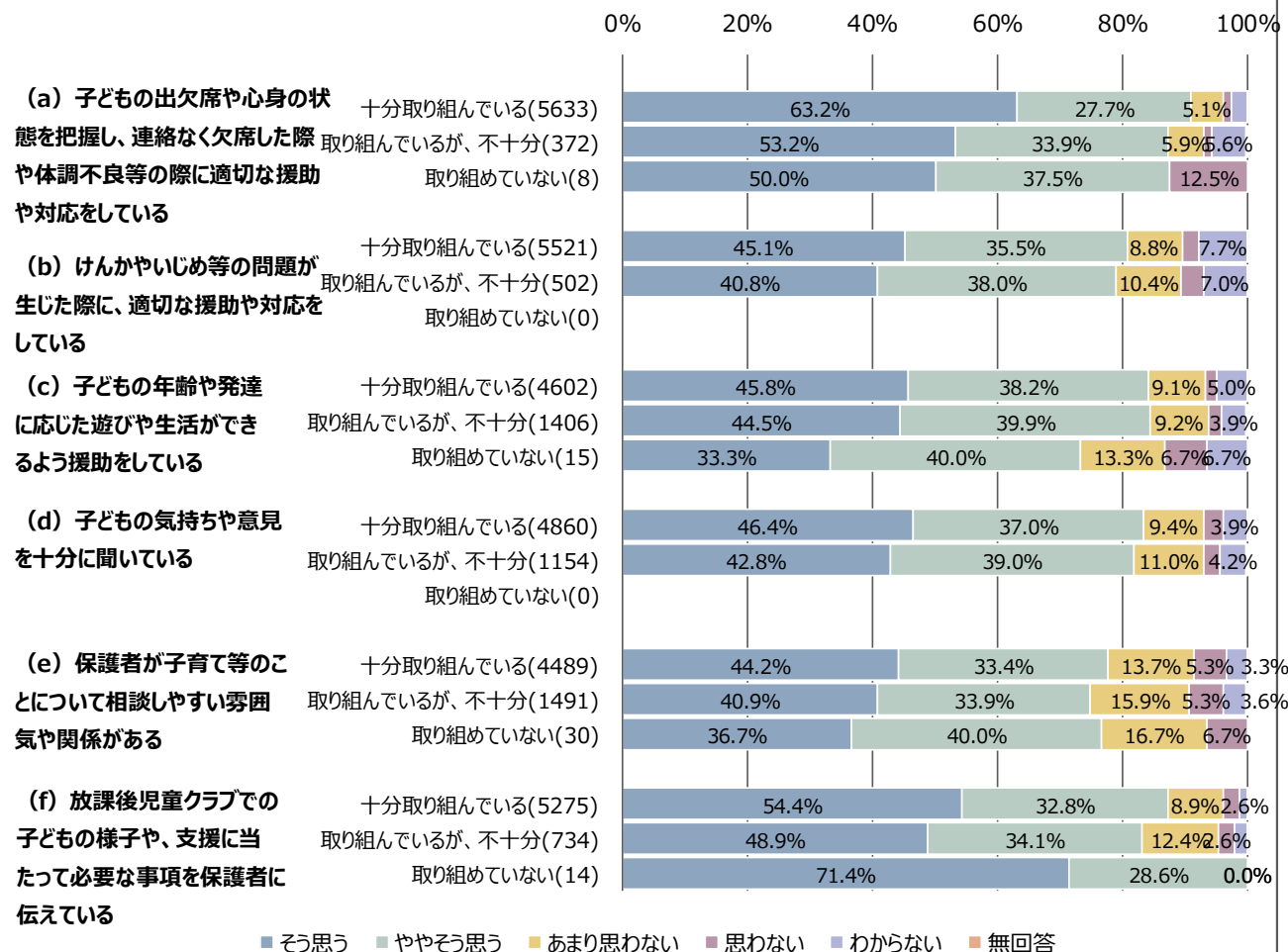
〔②放課後児童クラブ責任者向け調査、③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔放課後児童クラブ運営責任者と保護者の一致・相違状況〕 放課後児童クラブでの『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合い(放課後児童クラブ責任者調査と保護者調査とのクロス分析)

- 放課後児童クラブでの(a)~(f)の『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合いについて、放課後児童クラブ責任者の考えと保護者の考えの関係をクロス集計によりみた。
- 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」と考えている場合、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいると(そう)思う」割合は高い。
- 放課後児童クラブ責任者が「取り組めていない」と考えている場合、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいるとあまり思わない・思わない」割合が高い。
- 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」と考えている場合に、その放課後児童クラブに子どもが通う保護者が「十分取り組んでいるとあまり思わない・思わない」とする割合も一定数いる。
- 放課後児童クラブ責任者が「十分取り組んでいる」場合と、「取り組んでいるが、不十分」の場合との間では、保護者が「十分取り組んでいると(そう)思う」割合の差は必ずしも大きくはない。

職員による子どもや保護者への関わり度合い

(縦軸:放課後児童クラブ責任者調査×横軸:保護者調査)



(放課後児童クラブ責任者調査:問11、保護者調査:問12)

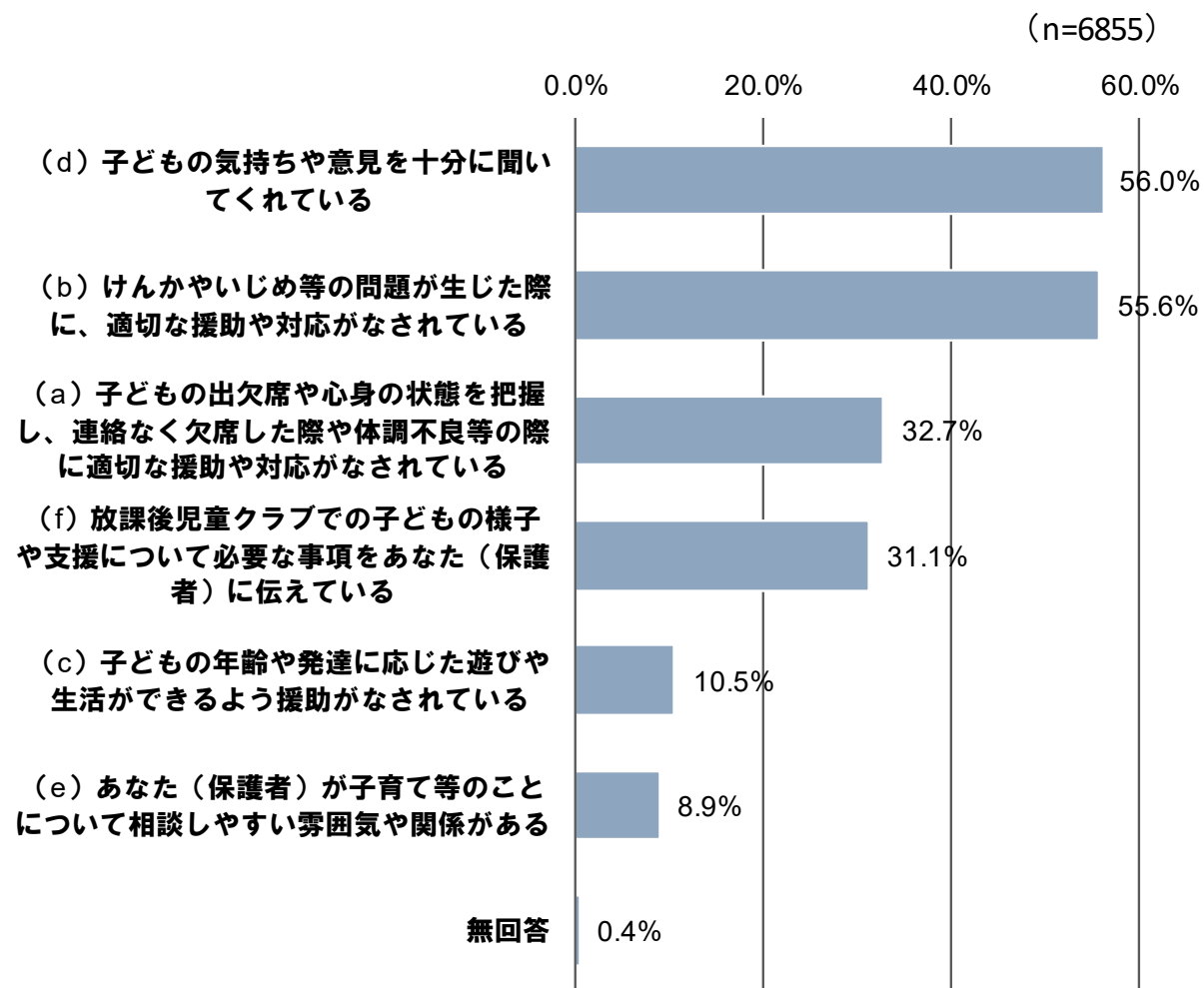
5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わり度合いで重視する取組

- 子どもが通う放課後児童クラブにおける(a)～(f)の『放課後児童支援員等』(職員)の子どもや保護者への関わりについて、保護者に対して、重視する項目を2つ選んでもらった。
- (d)、(b)がそれぞれ56.0%、55.6%と高い割合となっている。

職員による子どもや保護者への関わりで重視する項目



(保護者調査:問13)

5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

職員による子どもや保護者への関わりが十分に行われていない理由【自由記述】	
(a)子どもの出欠席や心身の状態を把握し、連絡なく欠席した際や体調不良等の際に適切な援助や対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ○人員不足:十分に取組んで頂いているが、イレギュラーな業務、特に保育中は伝達が十分にできる程、マンパワーが充足していない。ギリギリで対応して頂いているため。 ○保護者との連絡体制整備の必要性:連絡なしで欠席した児童について、保護者と上手く連絡を取り合えておらず、迎えに来られる時もある。そういった場合どのようにするか対策を考える必要がある。
(b)けんかやいじめ等問題が生じた際に、適切な援助や対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ○十分目が行き届かない:注意深く見守りをしているが、支援員が目を離した時に起こることがあり、その場で解決したいと思っても解決までに日数がかかってしまう ○学校での状況が不明:小学校であったトラブル等を把握しきれず、学童クラブに来てからの様子で十分に対応できないこともある。 ○外国籍の子供の増加:外国籍児童がとても多く、言葉の理解が互いにできづらく、充分支援できているとはいえない。
(c)子どもの年齢や発達に応じた遊びや生活ができるよう援助をしている	<ul style="list-style-type: none"> ○1～6年の在籍、異年齢での活動の課題:1年から6年が在籍しているので、一斉に同一の活動をすると、低学年か高学年かのどちらかに興味や関心が片寄ってしまう。
(d)子どもの気持ちや意見を十分に聞いている	<ul style="list-style-type: none"> ○時間がとれない:利用人数が多く、また配慮を必要とする子も多い為、なかなか十分に話を聞いているとは言えない場合がある。 ○余裕がない:来館者が多く、細かいところまで見る事ができない時など静かにしている児童に寄り添う事ができない。
(e)保護者が子育て等のことについて相談しやすい雰囲気や関係がある	<ul style="list-style-type: none"> ○余裕がない:保護者の方は、とても協力的で迎え時に必ず話はするように努めてはいるが、迎えが集中したりすると、全ての方と話すことが困難である。 ○相談しにくい:相談できる雰囲気や話す時間の確保が難しいと感じる。 ○人員不足:職員の中に相談できるだけのスキルが身につけていない人がいる。
(f)放課後児童クラブでの子どもの様子や、支援に当たって必要な事項を保護者に伝えている	<ul style="list-style-type: none"> ○全員ではない:すべての子どもがお迎えに来てもらっているわけではなく、一人帰りの子どももいる。保護者会への参加がない保護者もいる。 ○電話・メール:迎え時に混雑した際に伝え忘れる事があり、重要な話し等は電話メールにてお知らせしている。

5. 育成支援の実施状況(2)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

子どもや保護者との関わりが十分に行われていない理由【自由記述】	
(a)障害児への対応(受け入れの有無、計画的な育成支援、関係機関との連携)	<ul style="list-style-type: none"> ○十分な対応ができていない: 受入れは行なっているが個別対応できる様な人員の余裕、専門職とする職員が不足している。またプライバシーにより保護者からの情報や通院に関する状況が少ない。 ○受け入れていない: 学校通学児は通常受入れを行っているが、支援学校児の受け入れは行っていない。(支援員の対応が不可のため)病的児童については、保護者と連携をとっている。
(b)特に配慮を必要とする子どもへの対応(児童虐待への対応、特別の支援を必要とする子どもへの対応、プライバシーの保護・秘密保持)	<ul style="list-style-type: none"> ○信頼関係が構築できていない: 配慮を必要とする子どもの両親から病院へ通い出した事、薬の服用について、報告を受ける事ができず、信頼関係ができていなかったと感じている。
(c)保護者との連携(保護者組織との連携)	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者の組織がない: 保護者との連携はとれているが保護者組織がない ○保護者の時間がない: 働いている保護者は、時間が取れない。
(d)職務内容(計画の作成、記録の作成、事例検討)	<ul style="list-style-type: none"> ○時間がない: 皆で集まる時間をとるのが難しい。 ○計画がない: 毎日の学童での流れはできているが、子どもの学年による帰宅時間の細かな計画がたてられない。 ○記録していない: きちんと記録がとれていない部分がある。 ○事例検討していない: ミーティングでのふりかえり等を行っているが、別に時間をとって個別の事例検討は行っていない。
(e)学校や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○地域との連携が不十分: 学校との連携には十分取り組んでいるが、地域との連携は不十分なところがある。民生委員、町内会他との密な連携に取り組んでいきたい。 ○学校との連携が不十分: 定期的な子どもたちの状況の意見交換がまだ出来ない。
(f)運営に関する事項(入所・退所時への対応、保護者や地域への説明、自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域への説明ができていない: 校内での活動に限られているため、地域への説明がされていない。
(g)衛生管理、安全対策(災害や事故等への対策、アレルギー対策、来所帰宅時の安全確保)	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の老朽化: 建物自体が古く、衛生面・安全面においては不安な所もある。 ○アレルギー対応状況: アレルギー対応のお子さんが年々増え、対応に追われている。 ○災害対応状況: 避難訓練は年数回実施しているが、災害時の対応、避難場所など地域の人たちと連携をとるべきではないかと思っている。
(h)事業内容の向上(苦情対応、研修の実施・参加、自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○研修を企画していない: 県が主催している研修会には参加しているが、当クラブで研修は企画できていない。 ○余裕がない: 全員非常勤のため、研修への参加が難しい。

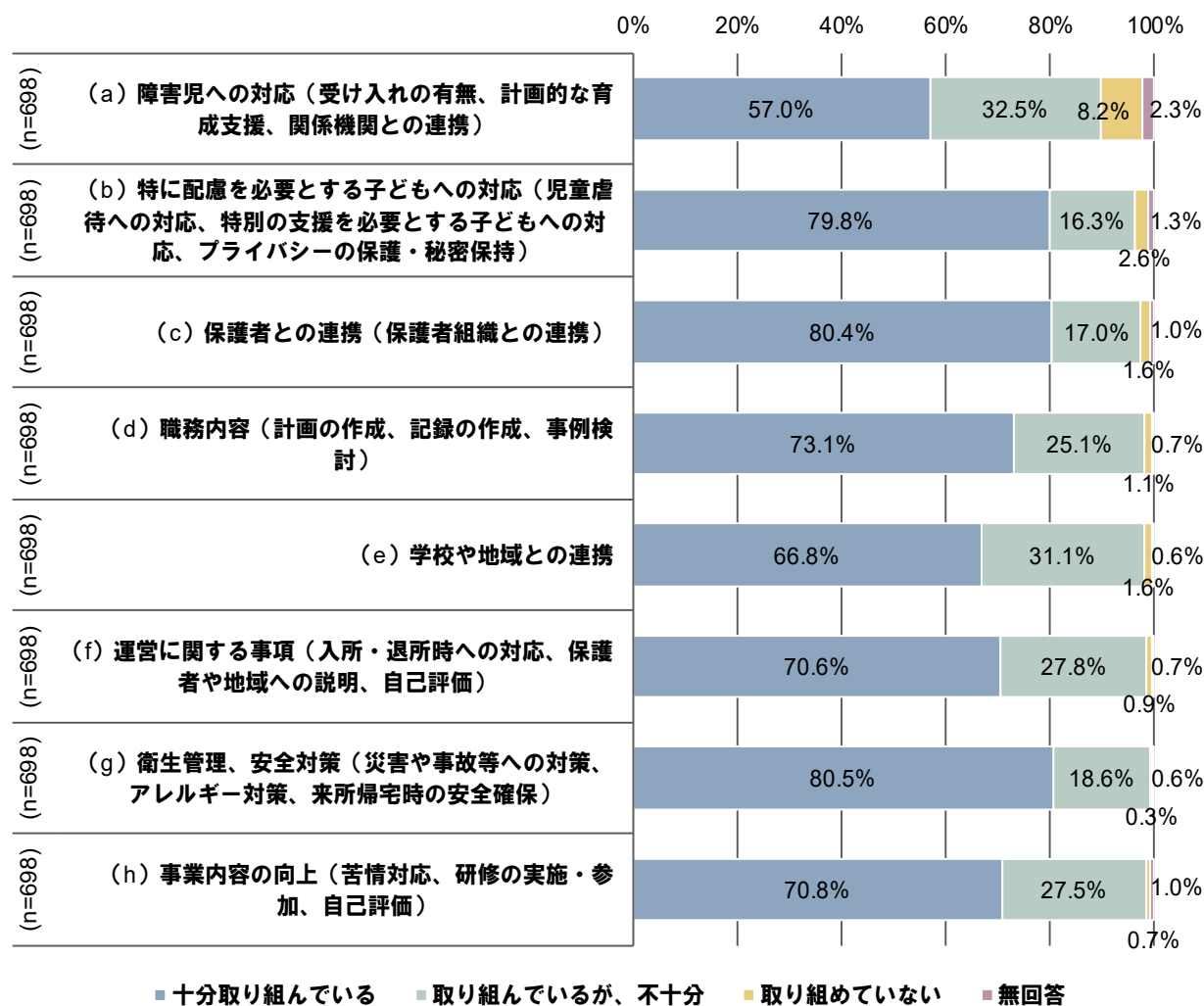
5. 育成支援の実施状況(3)

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

放課後児童クラブにおける子どもや保護者との関わりの状況

- 放課後児童クラブに対して、(a)～(h)の子どもや保護者への関わりについて十分に取組んでいるかを尋ねた。
- ほとんどの項目について、「十分に取組んでいる」割合が7～8割と高く、「取組んでいない」割合は非常に低い。
- (a) について、「十分取組んでいる」が57.0%と他の項目での割合よりも低い。
- (e)、(f)、(h)について、「取組んでいるが、不十分」割合が3割程度とやや高くなっている。

子どもや保護者への関わりの状況



(放課後児童クラブ責任者調査:問12)

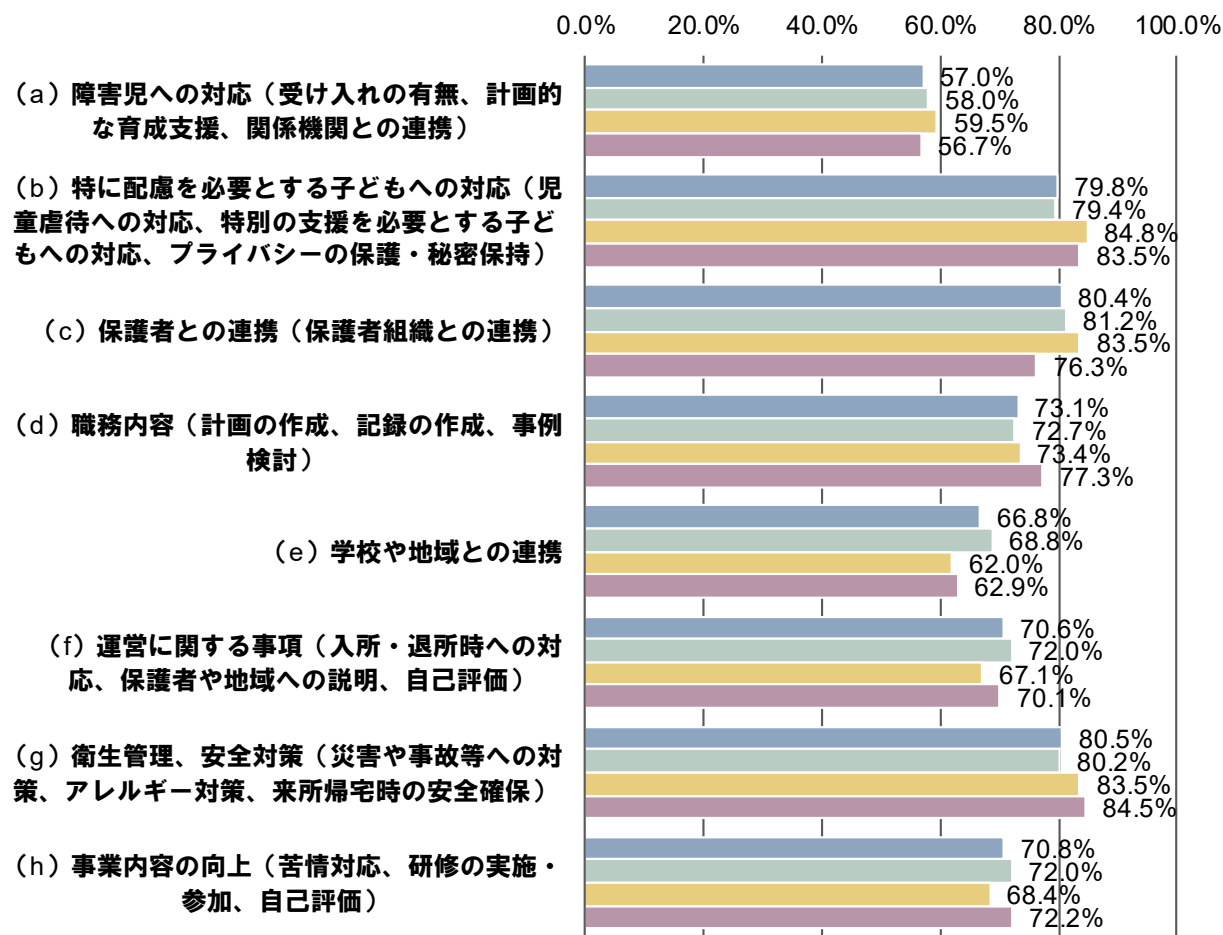
5. 育成支援の実施状況(3)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

〔所管部署別〕 放課後児童クラブにおける子どもや保護者との関わりの状況

- 放課後児童クラブに対して、(a)~(h)の子どもや保護者への関わりについて十分に取り組んでいるかを、所管部署別にみた。
- (e)、(f)などの項目について、『福祉部局』で「十分取り組んでいる」割合が高くなっている。
- (b)について、『教育委員会』で「十分取り組んでいる」割合が高くなっている。

〔所管部署別〕 子どもや保護者への関わりの状況
 (「十分取り組んでいる」割合)



(放課後児童クラブ責任者調査:問12)

■ (n=698) 合計 ■ (n=490) 福祉部局 ■ (n=79) 教育委員会 ■ (n=97) その他

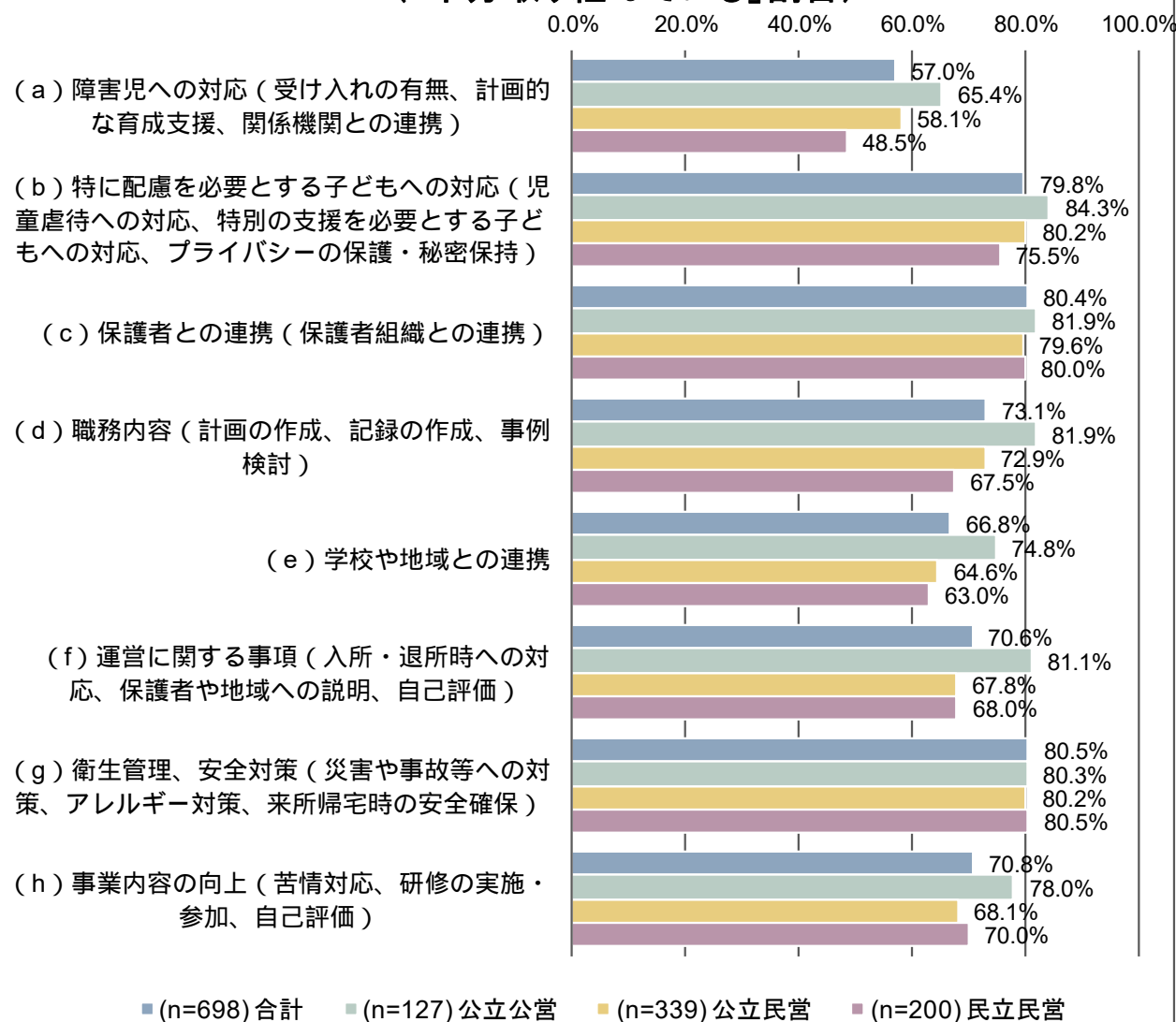
5. 育成支援の実施状況(3)つづき

〔②放課後児童クラブ責任者向け調査〕

〔設置運営別〕 放課後児童クラブにおける子どもや保護者との関わりの状況

- 放課後児童クラブに対して、(a)~(h)の子どもや保護者への関わりについて十分に取り組んでいるかを、設置運営別にみた。
- 多くの項目について、『公立公営』で「十分取り組んでいる」割合が高く、『私立民営』で「十分取り組んでいる」割合が低くなっている。

〔設置運営別〕 子どもや保護者への関わりの状況
 (「十分取り組んでいる」割合)



(放課後児童クラブ責任者調査:問12)

5. 育成支援の実施状況(3)つづき

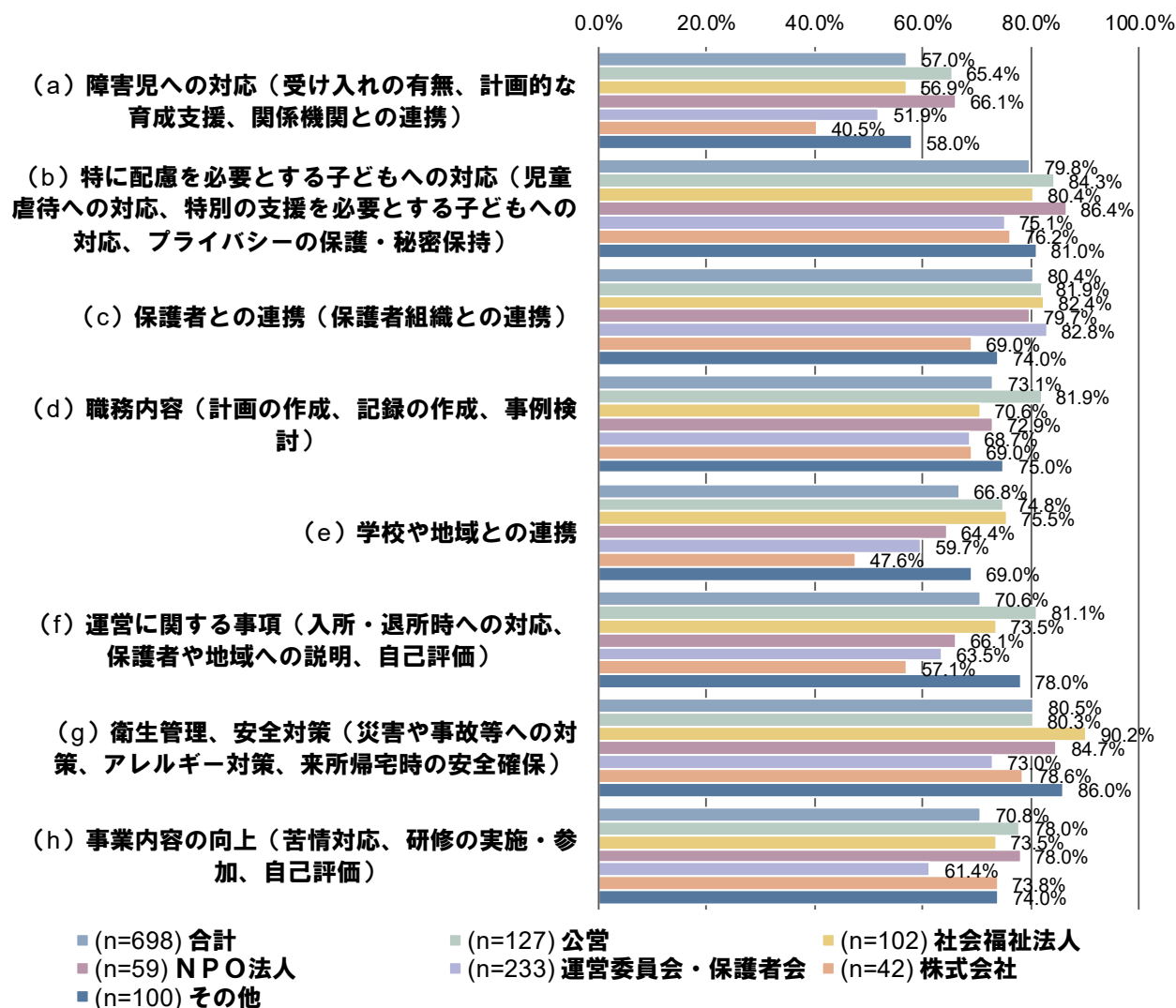
[②放課後児童クラブ責任者向け調査]

〔運営主体別〕 放課後児童クラブにおける子どもや保護者との関わりの状況

■ 放課後児童クラブに対して、(a)~(h)の子どもや保護者への関わりについて十分に取り組んでいるかを、運営主体別にみた。

■ (a)、(c)、(e)、(f)について、『株式会社』で「十分取り組んでいる」割合が低い。

〔運営主体別〕 子どもや保護者への関わりの状況
 (「十分取り組んでいる」割合)



(放課後児童クラブ責任者調査:問12)

5. 育成支援の実施状況(3)つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

放課後児童クラブに通わせてよかったこと、放課後児童クラブで行われていてよかったと思う取組【自由記述】

- 安心して預けられる:両親ともにフルタイムの仕事がある為、預かってもらえることが助かる。留守家庭と違って、大人の目があるので、安心して仕事ができます。放課後に安全な居場所が確保されていること。
- 職員の対応が適切:友達やスタッフの方達が多くいる中で色々な活動に参加できること。友達と喧嘩したり仲良くなったり今しかできない経験、その解決策を導く手助けを先生方がしてくれ、何かあれば伝えてくれる。友達と喧嘩があった時の対応が、子供を成長させてくれるような対応の仕方なので、ありがたいです。友達との上手な付き合い方を学ぶよい機会。子どものことを小さい頃から知っている職員がいて、相談しやすい。
- 子どもが楽しんでいる:本人が喜んで通っている。
- 遊びが充実している:様々な種類の遊びを体験させてくれること。他の学年の子とも接する機会があること。遊びでのルールが守れる様になった。遊びに工夫がされている。遊び場、活動場所が広いのでおもいきり遊んでいる様子がある。
- 友達と楽しく遊んでいる:両親とも共働きなので、学童で学習や友達と楽しく遊んでいる姿を見ると、家より学童に行かしてよかったなと思う。様々な子たちと学年関係なく遊んでいるのがいいところだと思う。友達と楽しく遊べる事。外遊びも充実しており、それに繋がる大会がある事。
- 勉強ができている:友達と勉強し、分からないところをお互いに教えあえる部分。宿題を自分でやる習慣がついた。
- イベントが実施されている:様々な行事を企画していただき、家庭では経験できないようなことも体験させてもらえるのはありがたい。夕涼み会など、保護者が主体となる行事がある。友達との交流がひろがったり、キャンプがあったり自然とふれあうことができること。
- おやつが充実・工夫されている:おやつの好き嫌いが減った。おやつが充実。おやつが工夫されている事が有難い。

5. 育成支援の実施状況(3)つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

放課後児童クラブに改善してほしいこと【自由記述】

- 保護者会運営での役員の負担を減らして欲しい:保護者による運営の場合、保護者が働きながらの運営は大変である。国、県、市等からの援助が必要。役員や一人一役の仕事があるのは大変だと思います。
- 料金を安くして欲しい:延長料金が他の市町村よりかなり高額。利用したい日だけ利用できるように戻してほしい。
- 時間を延長して欲しい:預かり時間を長くして欲しい。土曜日仕事の間は平日と同じため8時開始だと助かる。
- 休日・長期休暇時に対応して欲しい:年末年始やお盆休みが長い事。日曜日祝日も運営してほしい。
- 対象学年を拡大して欲しい:働く親としては6年生まで拡大してほしい。
- 職員のスキル向上、処遇改善を希望:有資格者を従事させてほしい。職員が足りていない。先生の境遇改善。
- 子どもへの対応を充実して欲しい:子供のいじめに対処して欲しい。子どもが起こした問題があるとしたら、些細なことでもまず保護者に報告してほしい。現状を知るためにも全体的に報告して欲しい。
- 連絡方法の充実、徹底の希望:欠席について留守番電話対応があるとよい。メール連絡が出来ると助かる。
- 施設の充実:遊べる場所と安全面確保。不審者対応策が心配。設備の老朽化が心配。利用人数に対して施設が狭い。
- 学習支援の希望:勉強面を徹底して欲しい。
- イベントを充実して欲しい:製作活動や地域の文化にふれる体験を増やして欲しい。行事がもっとあってほしい。
- 食事・おやつの提供の充実:長期休業中、お昼の準備をお願いしたい。毎日のオヤツの内容を質の良いものに。
- 運動の機会増の希望:体育館の活動がもう少しあれば良いと思う。体を動かすことがないと良い。
- 病気・怪我への対応:体調の悪い子は、部屋を分けてほしい。体調が悪い事など小さな事でも報告して欲しい。
- 災害時の対応:台風などにより急に休みになると困る。警報で学校が休みの日も通えたら、仕事上とても助かる。

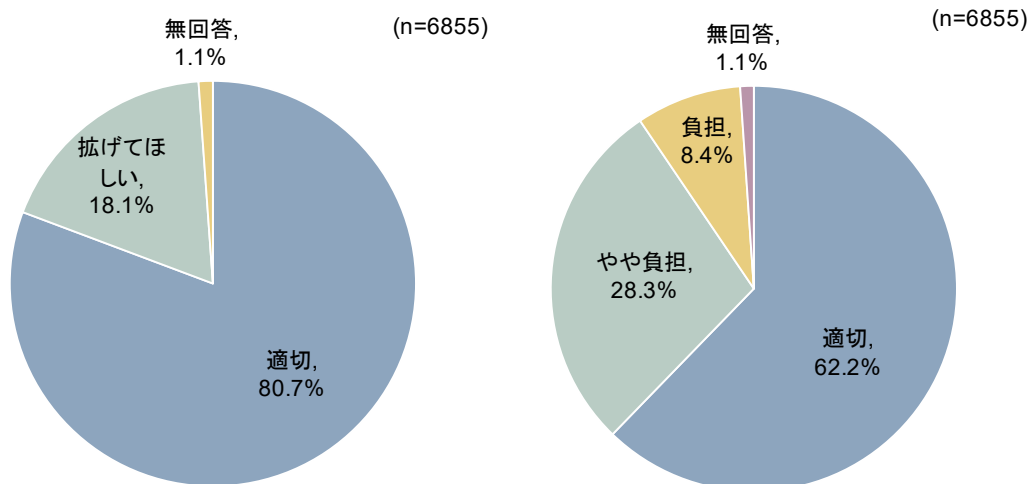
6. 放課後児童クラブに対する満足度

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

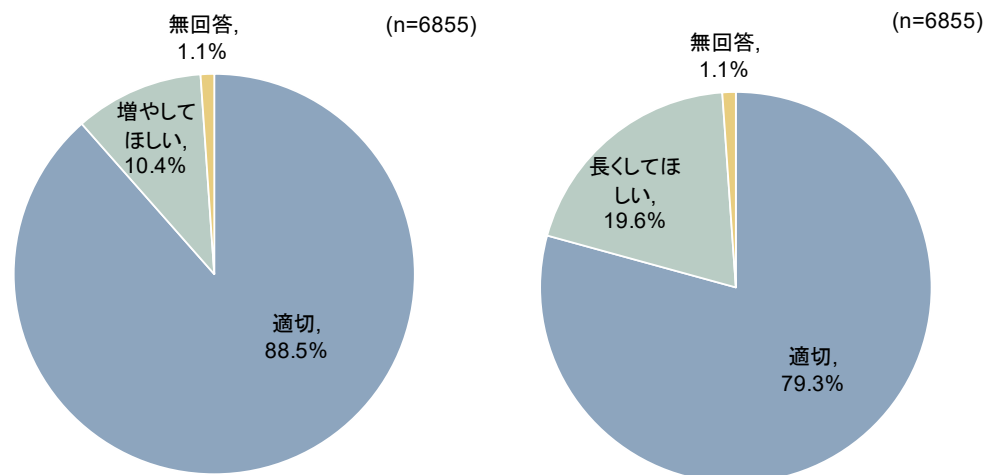
対象学年、利用料、開所日、開所時間に対する満足度

- 保護者に対して、放課後児童クラブに対する満足度を尋ねた。
- 『(a)対象学年』については、「適切」が80.7%と最も高い割合となっている。
- 『(b)利用料』については、「適切」が62.2%と最も高い割合となっている。
- 『(c)開所日』については、「適切」が88.5%と最も高い割合となっている。
- 『(d)開所時間』については、「適切」が79.3%と最も高い割合となっている。

(a)対象学年(左図)、(b)利用料(右図)の満足度



(c)開所日(左図)、(d)開所時間(右図)の満足度



(保護者調査:問16)

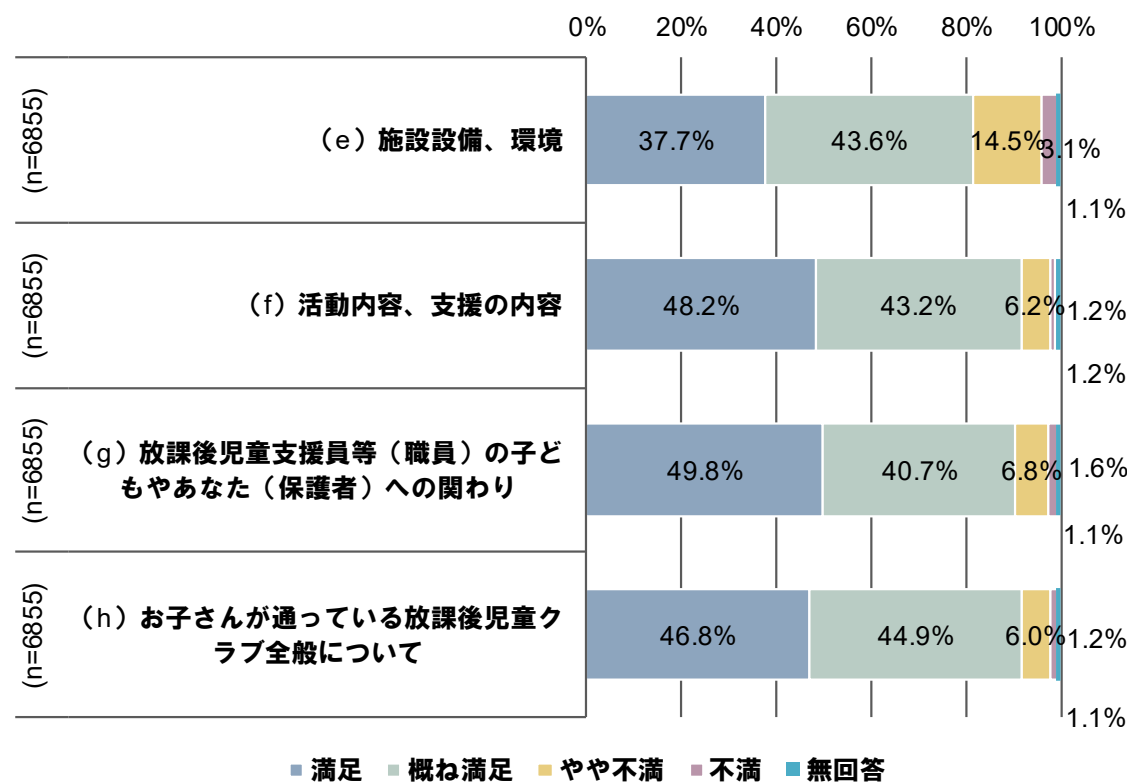
6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

施設整備・環境、活動内容・支援の内容、放課後児童支援員等(職員)の関わり、放課後児童クラブ全般への満足度

- 『(e)施設整備、環境』については、「概ね満足」が43.6%と最も割合が高く、「満足」(37.7%)が次いで高い。
- 『(f)活動内容、支援の内容』については、「満足」の割合が48.2%と高く、これに「概ね満足」の43.2%を加えると、9割を超える。
- 『(g)放課後児童支援員等(職員)の子どもやあなた(保護者)への関わり』については、「満足」の割合が49.8%と高く、これに「概ね満足」の40.7%を加えると、9割を超える。
- 『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』は、「満足」の割合が46.8%と高く、これに「概ね満足」の44.9%を加えると、9割を超える。

(e)施設整備、環境、(f)活動内容、支援の内容、(g)放課後児童支援員等(職員)の子どもやあなた(保護者)への関わり、(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について、の満足度



(保護者調査:問16)

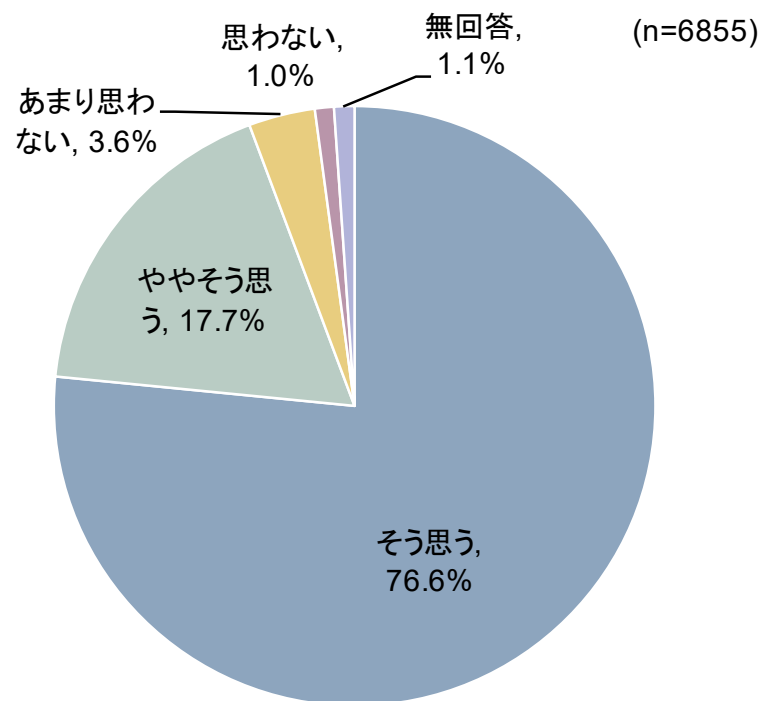
6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

今後も今の放課後児童クラブに通わせたいか

- 『(i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか』について、「そう思う」が76.6%と最も高い割合を示している。

今後も今の放課後児童クラブに通わせたいか

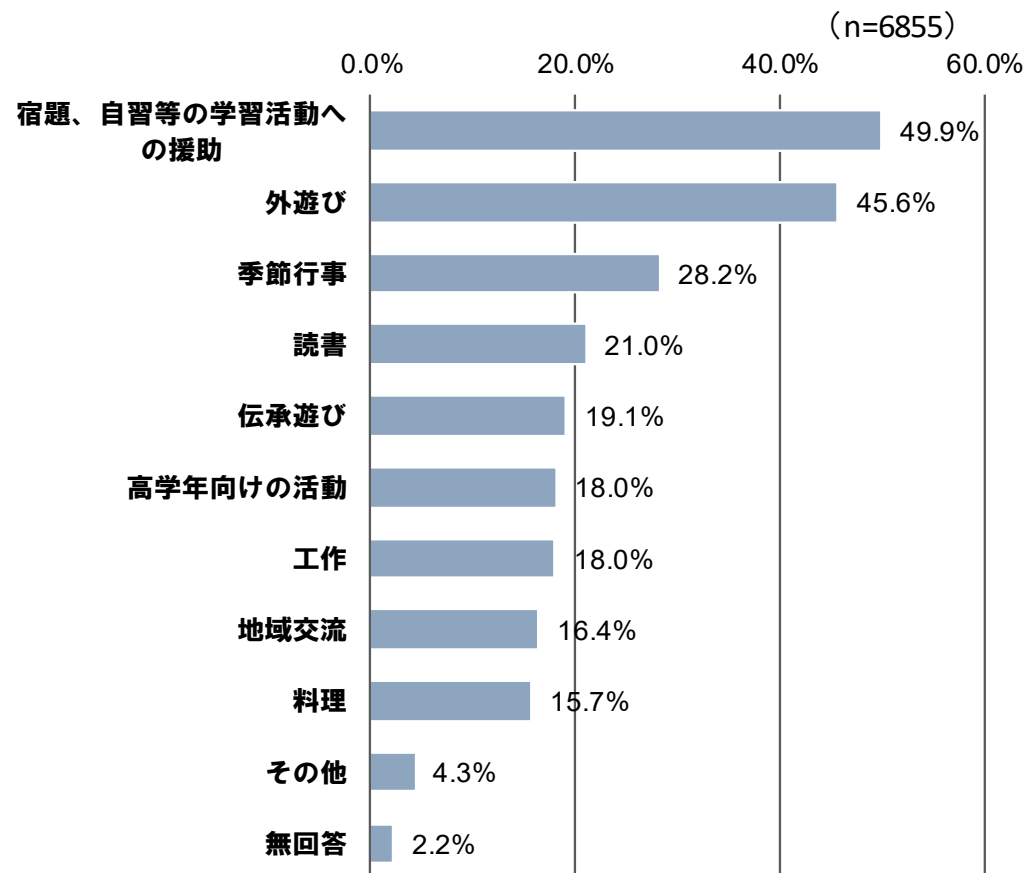


(保護者調査:問16)

今後充実させて欲しい活動内容

- 今後充実させてほしい活動内容(3つ)として、「宿題、自習等の学習活動への援助」が49.9%と最も割合が高い。「外遊び」が45.6%と次いで高い。「季節行事」が28.2%で次いでいる。

今後重視させて欲しい活動内容【複数回答】



(保護者調査:問19)

6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

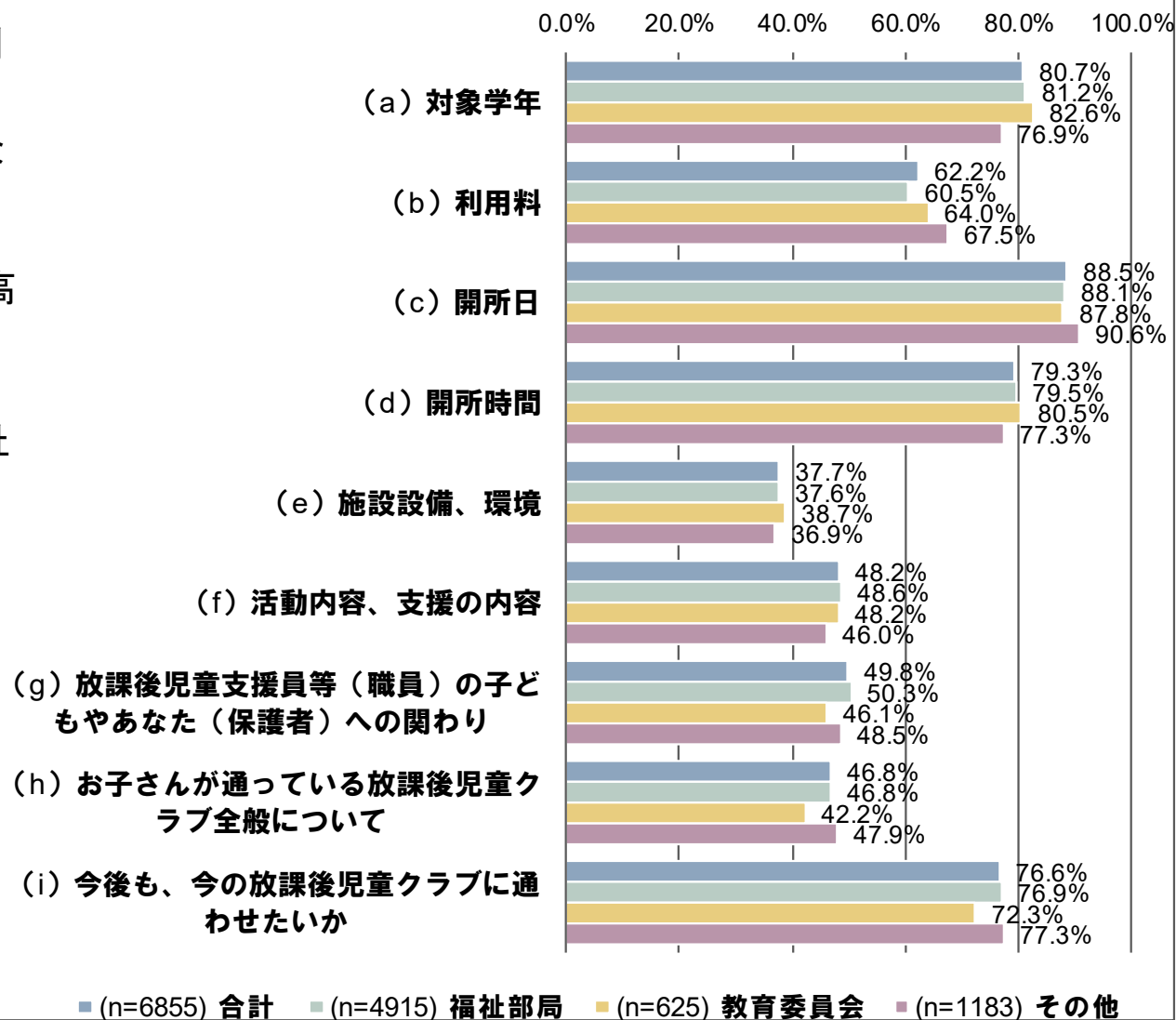
〔所管部署別〕 放課後児童クラブに対する満足度(保護者調査)

- 放課後児童クラブに対する保護者の満足度を所管部署別にみた。
- 『(b)利用料』について、保護者が「適切」とする割合は、『教育委員会』でやや高い。
- 『(g)放課後児童支援員等(職員)の子どもやあなた(保護者)への関わり』、『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、保護者の「満足」の割合は、『福祉部局』でやや高い。
- 『(i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか』について、保護者が「そう思う」割合は、『福祉部局』でやや高い。

(保護者調査:問16)

〔所管部署別〕 放課後児童クラブへの満足度

(a)～(d)は「適切」、(e)～(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合



6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

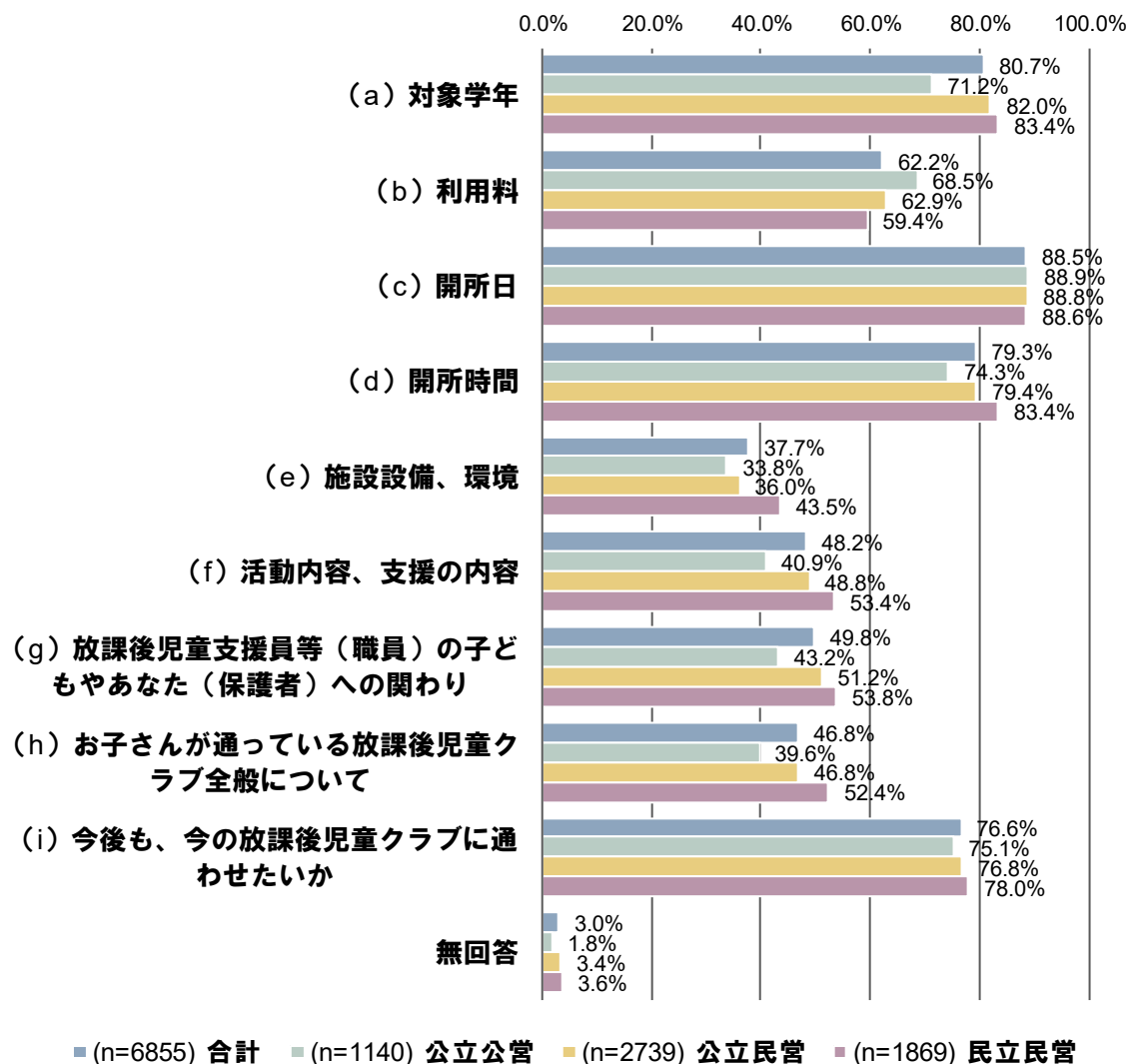
〔設置運営別〕 放課後児童クラブに対する満足度(保護者調査)

- 放課後児童クラブに対する保護者の満足度を設置運営別にみた。
- 『(a)対象学年』、『(d)開所時間』、『(e)施設設備、環境』、『(f)活動内容、支援の内容』、『(g)放課後児童支援員(職員)の子どもやあなた(保護者)への関わり』、『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、『私立民営』で、保護者が「適切」、「満足」とする割合が高い。
- 『(b)利用料』について、『公立公営』で保護者が「適切」とする割合が高い。

(保護者調査:問16)

〔設置運営別〕 放課後児童クラブへの満足度

(a)~(d)は「適切」、(e)~(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合



6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

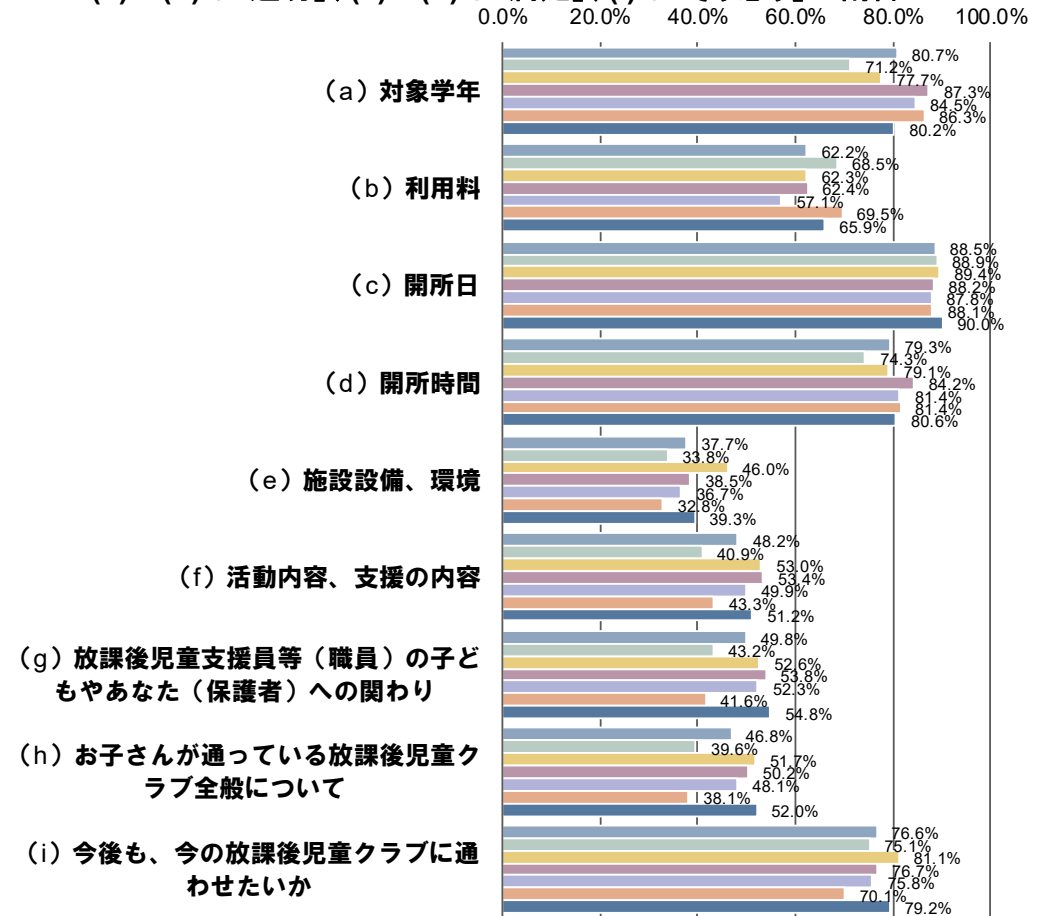
〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

〔運営主体別〕 放課後児童クラブに対する満足度(保護者調査)

- 放課後児童クラブに対する保護者の満足度を運営主体別にみた。
- 『(a)対象学年』について、保護者が「適切」とする割合は、『公営』で低い。
- 『(b)利用料』について、保護者が「適切」とする割合は、『運営委員会・保護者会』で低い。
- 『(e)施設設備、環境』、『(f)活動内容、支援の内容』、『(g)放課後児童支援員等(職員)の子どもやあなた(保護者)への関わり』、『(h)お子さんが通っている放課後児童クラブ全般について』について、『公営』、『株式会社』で、保護者の「満足」の割合が低い。
- 『(i)今後も、今の放課後児童クラブに通わせたいか』について、保護者が「そう思う」割合は、『株式会社』で低い。

〔運営主体別〕 放課後児童クラブへの満足度

(a)~(d)は「適切」、(e)~(h)は「満足」、(i)は「そう思う」の割合



(保護者調査:問16)

6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

放課後児童クラブについて最も満足している理由【自由記述】

- 全体に満足している:全般、満足しています。預かっただけで満足です。
- 安心である:遊びの時も一緒に行動してくれている。安心できます。
- 子どもを預けることができる:預ける場所があるので安心して働くことができ感謝している。
- 土日・休日・長期休暇の対応がある:長期連休でも預けることができるから。
- 利用時間が長い:夕方の預り時間が仕事を終える時間に合っていること。
- 料金が安い:利用料金が安い。民間に比べてとても安い。
- 6年生まで預かっている:全学年を対象としているから。
- 職員の対応がよい:話しやすく子供の様子を教えてくれる。目が行き届き、それぞれの個性にも合わせた丁寧な指導、見守りがある。親や子どもの悩みや気持ちを親身になって聞いてくれる。
- 子どもが楽しんでいる:子供自身が楽しんでいるから。
- 勉強時間が取られている:宿題を行う雰囲気を作ってくれている。宿題は必ず終わらせてくれるので。
- 遊びが充実している:遊戯室などで体を動かす事ができるので、子供が喜んでいる。外遊びが多く伸び伸び遊べる。
- 友達との関係が良好:友達と多くかかわれるところ。同じ学年の同性が多い為、子供が嫌がらず行ってくれる。
- イベントがある:毎月、いろいろな行動を考えてくれるので有り難いです。
- 立地がよい:職場に近い。小学校に隣接している。自宅から近い事。
- 施設が充実している:施設も綺麗で勉強机がある。子供の人数に合った広さである。

6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

放課後児童クラブについて最も不満な理由【自由記述】

- 料金が低い: 兄弟が多いので、負担が大きいです。利用料について地域差がある。
- 対象学年の拡大: 6年生まで預けられる環境が欲しい。今のままだと仕事時間の変更や退職も考えていけないといけなく不安。
- 開所時間の延長: 預かり時間をもう少し早く&遅くしてほしい。夜間延長が、有料でもよいので設置して欲しい。
- 開所期間の拡大: 連休日にできるだけ開所してほしい。両親ともに祝日が仕事のため、料金が割高になっても構わないので祝日も開館してもらえると助かります。
- 保護者の負担大: 役員制度があること、毎月集会が開かれることが煩わしい。保護者運営のため、役員保護者の負担が大きい。役員会の負担軽減を望む。保護者会の負担が大きい。利用料を上げてでも保護者の負担を無くしてほしい。
- 母子家庭への対応: 母子家庭には負担が大きい。就学時援助の対象にならないのかと思う。
- 設備の充実: 老朽化しすぎて出入り禁止の部屋が多い。利用人数が増えているのに施設が狭い。

6. 放課後児童クラブに対する満足度 つづき

〔③子どもが放課後児童クラブに通う保護者向け調査〕

今後充実して欲しい活動内容【自由記述】

- 特になし、満足している:他の学童の話聞きても、色々やってくださっているので、満足している。無理しないで安全に子供を預かっていただけたらこちらとしては十分満足です。
- 長期休暇時について:長期休暇の受け入れ時間の延長、祝日の受け入れを実施して頂けたら助かります。
- 利用対象の拡大:高学年も入所をお願いしたい。
- 開所時間の拡大:預けられる時間を増やして欲しい。時間延長制度。
- 料金の軽減:利用料金の軽減。母子家庭の無料化。
- 職員の充実、保障:支援員の育成。支援員のみなさんへの充実した保障や環境。支援の先生の増員。
- 勉強時間の確保:宿題をする時間をしっかり設けてほしい。
- 習い事ができること:習い事。英語学習。料理教室。
- 有料サービスの提供:民間の施設のように有料で習い事ができると良いと思った。
- 食事の提供:長期休暇の食事の提供をしてくだされば助かります。
- 外遊び時間の増加
- イベントの実施:親同士の交流会など。親子イベント。お泊まり行事。
- 地域交流、ボランティア活動の実施:地域の方とのコミュニケーション。老人ホーム等、色々交流がはば広い世代と、出来ると良い。